ライオン誌（毎月20日発行）第55巻第4号 2012年9月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

LION

IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

WWW.THELION-MAG.JP OCTOBER 2012 10

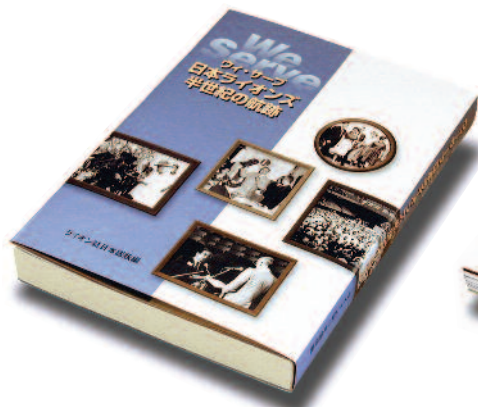
ライオンズクラブ統計

ライオン誌日本語版出版物

創刊55周年記念特別セット（価格1,000円／送料込）

ライオン誌日本語版は2012年7月号で、第55巻目に入りました。ライオン誌日本語版委員会ではこれを記念して、ライオン誌出版物のうちライオンズの歴史に関連する『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』を3冊セットにして1,000円（送料込／通常1,900円・送料別）で頒布することにしました。この機会にぜひお求めください。
※部数に限りがあります。お早めにお申し込みください。

●ウィ・サーブ

●ライオニズムよ永遠に

●『ライオン』誌創刊号復刻版

ウィ・サーブ
1952年に初めてのライオンズクラブが誕生してから、世界有数のライオンズ国となるまでの日本ライオンズ半世紀の軌跡。
B6判 332ページ（※通常頒価800円）

ライオニズムよ永遠に
ライオンズクラブの創設者メルビン・ジョーンズの生涯を時代と共に活写した労作。ジョーンズの書簡集と寸言録も収録。
B6判 224ページ（※通常頒価800円）

『ライオン』誌創刊号復刻版
1958年、『ライオン』誌日本語版創刊。発行部数はわずか4,500部だったが、誌面からは草創期の活気がひしひしと伝わってくる。
B5判 68ページ（※通常頒価300円）

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記し、office@thelion.jp宛てにご注文ください。
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門…………□部
●クラブ運営の基礎知識…………□部
●リーダーシップを養う…………□部
●創刊55周年記念特別セット…………□セット
（『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』の3冊入り）

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

LION MAGAZINE IN JAPAN
October 2012, Vol.55 No.4

We Serve CONTENTS

■2012年10月号
表紙
大阪府箕面市
箕面公園
写真／鈴木秀晃

本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

2011・12年度 ライオンズクラブ統計

世界と日本のライオンズクラブの情勢、クラブ・アンケート結果、アクティビティ年間集計を掲載

各地域の情勢

［2012年6月30日現在］国際本部集計

●会員数の純増
◀女性会員
◀男性会員
（赤字はマイナス）

カナダ
197
-1,014
-817

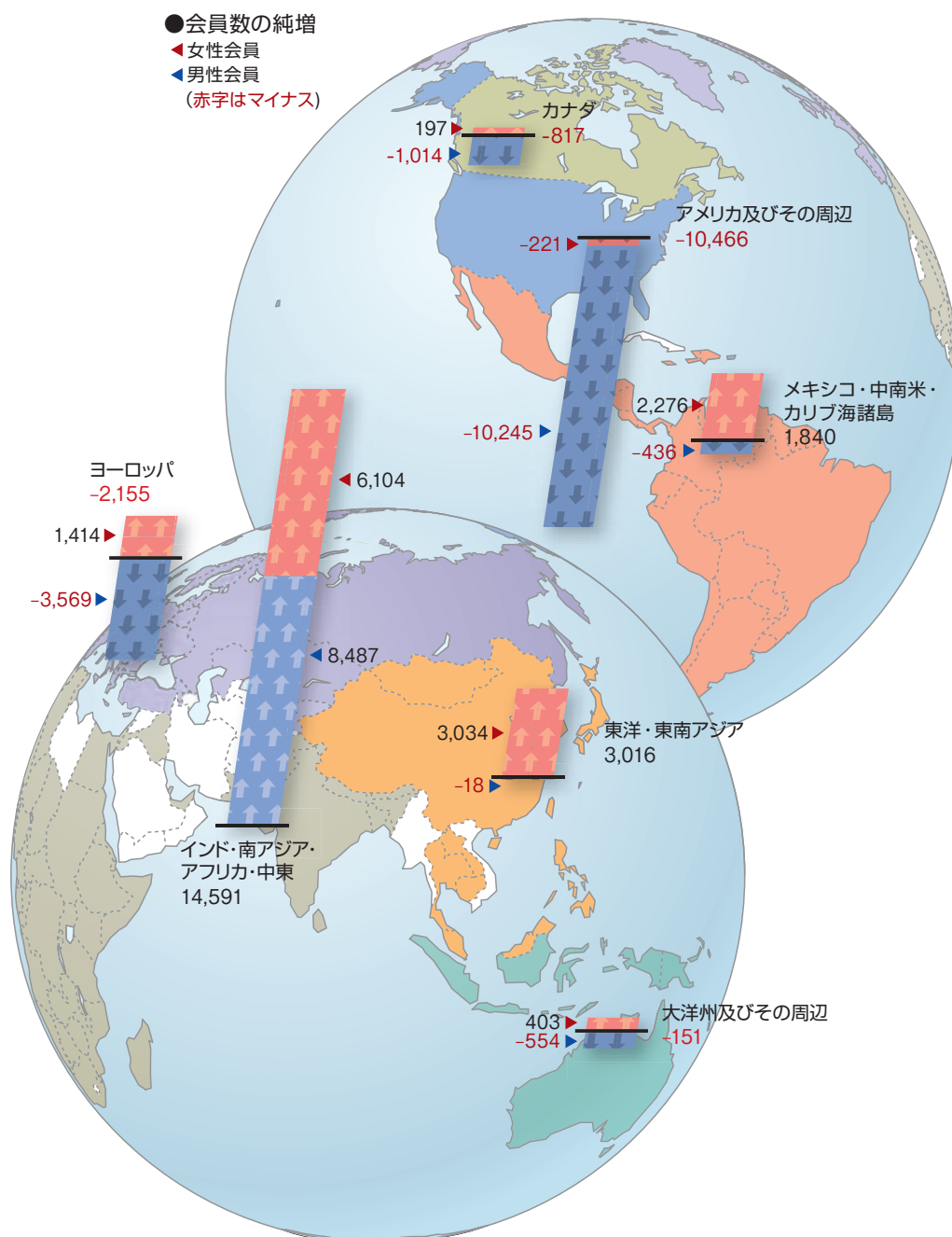
アメリカ及びその周辺
-221
-10,245
-10,466

メキシコ・中南米・カリブ海諸島
2,276
-436
1,840

ヨーロッパ
-2,155
1,414
-3,569

6,104
8,487
インド・南アジア・アフリカ・中東
14,591

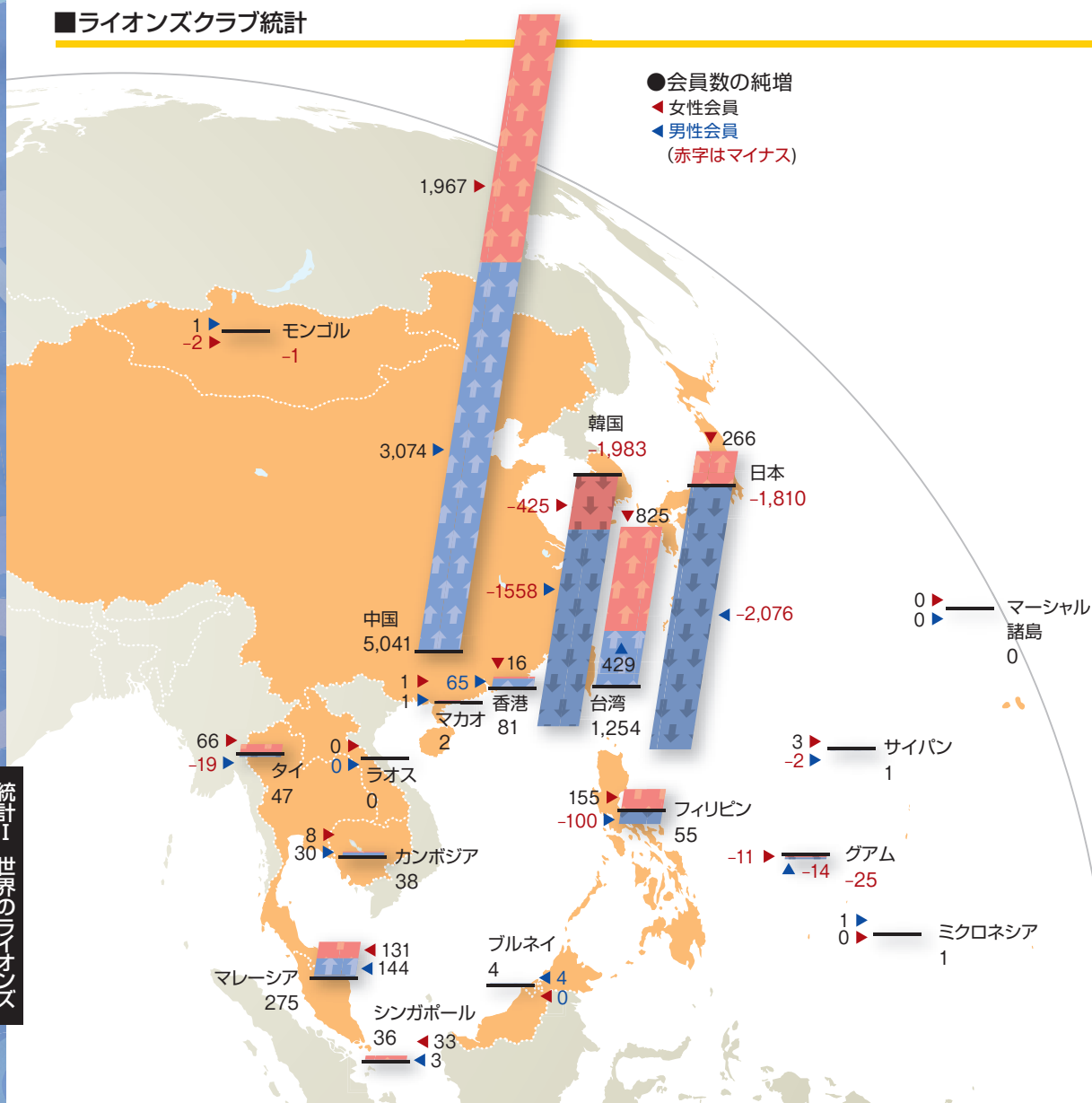
東洋・東南アジア
3,034
-18
3,016

大洋州及びその周辺
403
-554
-151

地域	クラブ数	結成	解散	純増減	会員数	新入	退会	純増減	女性会員数	女性会員割合（%）
アメリカ及びその周辺	12,374	116	323	–207	351,462	37,532	47,998	–10,466	92,836	26.4%
カナダ	1,631	20	31	–11	38,150	4,030	4,847	–817	10,034	26.3%
メキシコ・中南米・カリブ海諸島	3,975	119	135	–16	100,842	16,294	14,454	1,840	41,135	40.8%
ヨーロッパ	9,662	132	139	–7	266,393	20,754	22,909	–2,155	52,834	19.8%
インド・南アジア・アフリカ・中東	8,852	727	565	162	281,952	64,721	50,130	14,591	64,017	22.7%
東洋・東南アジア	7,948	392	185	207	264,157	47,019	44,003	3,016	51,159	19.4%
大洋州及びその周辺	1,876	36	37	–1	44,498	5,910	6,061	–151	13,760	30.9%
合計	46,318	1,542	1,415	127	1,347,454	196,260	190,402	5,858	325,775	24.2%

＊年度末クラブ数・会員数にはステータス・クオも含む

東洋・東南アジアの情勢

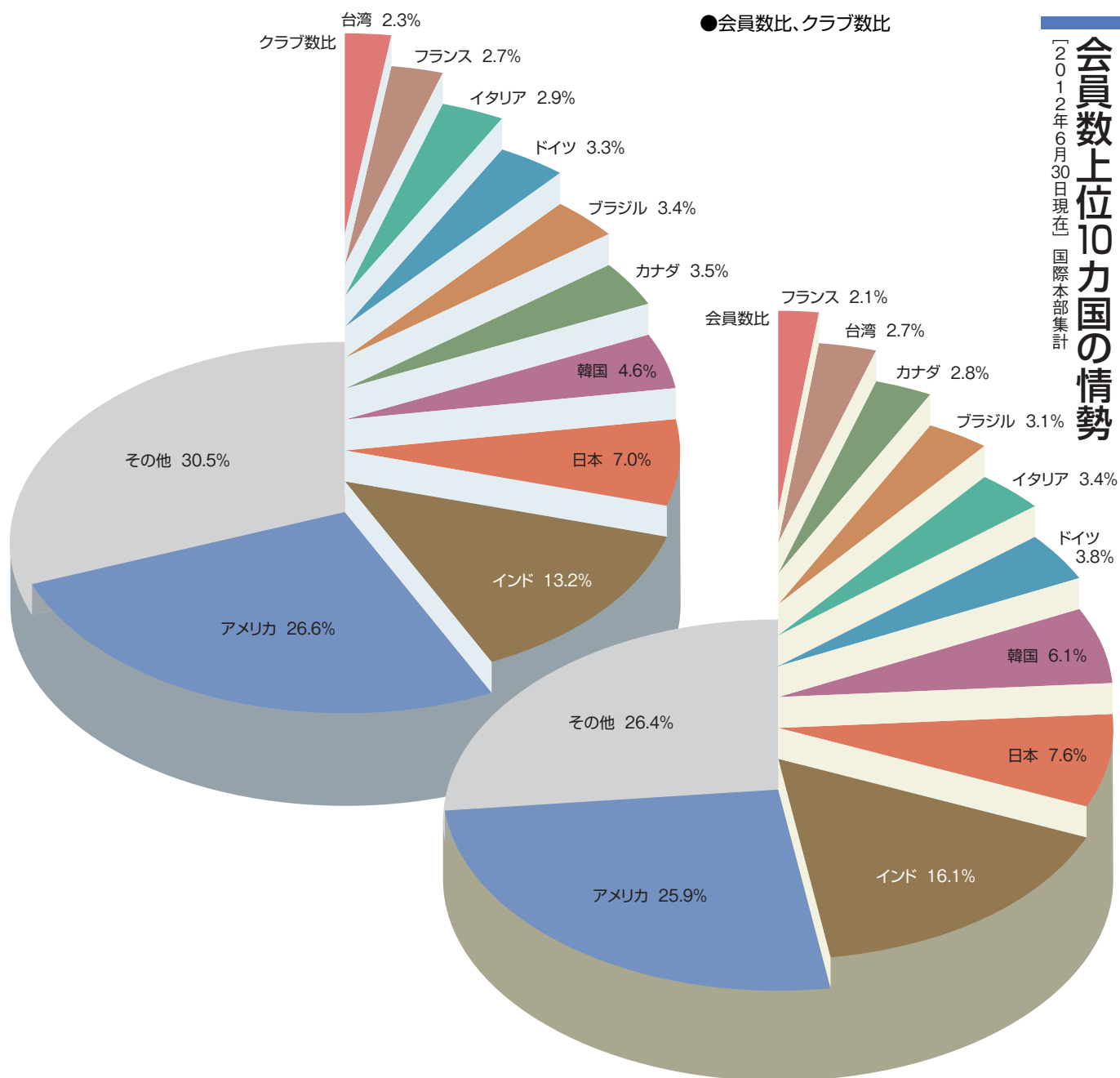
［2012年6月30日現在］国際本部集計

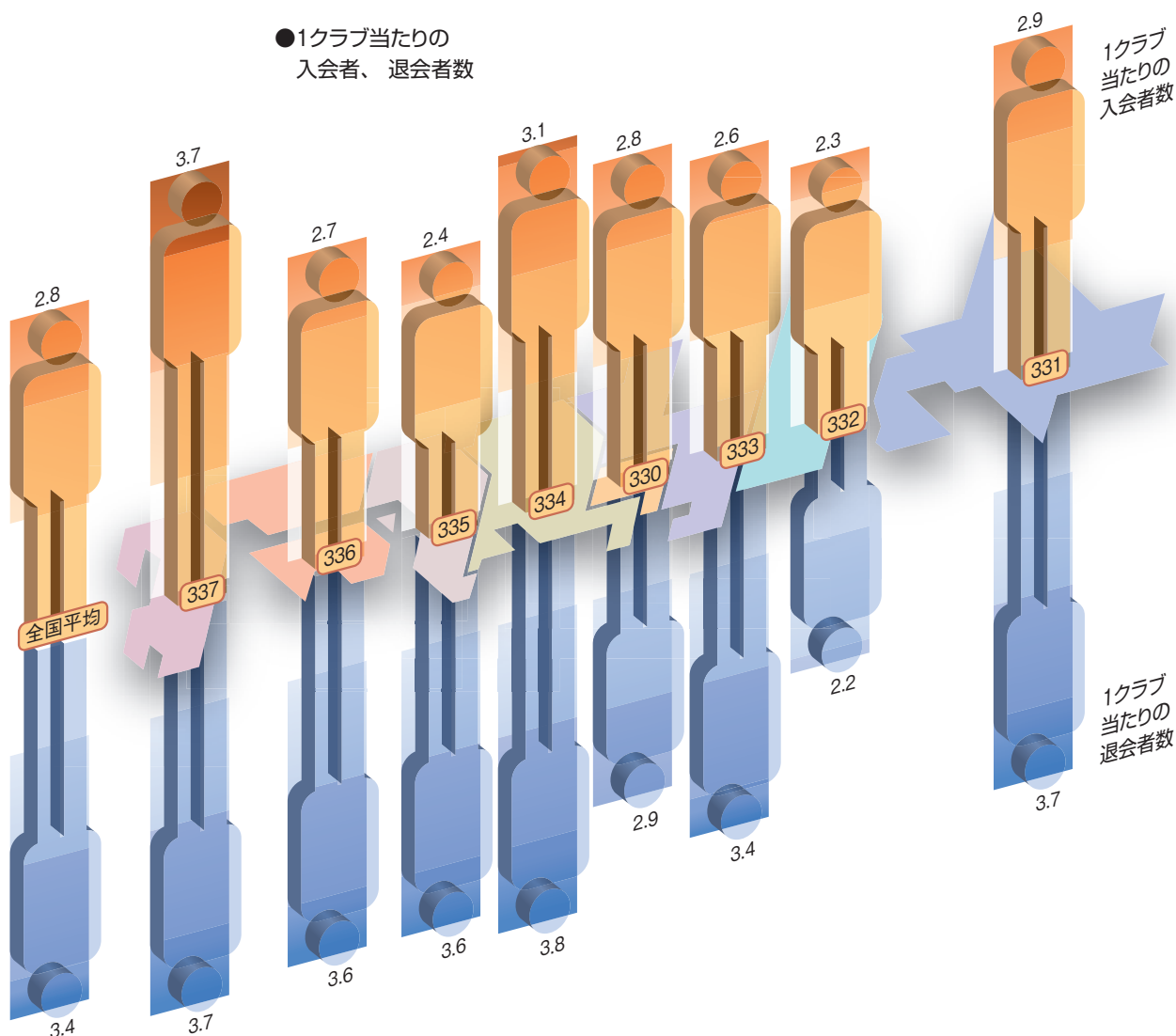
●会員数の純増
◀ 女性会員
◀ 男性会員
（赤字はマイナス）

国及び地域	クラブ数	結成	解散	純増減	会員数	新入	退会	純増減	女性会員数	女性会員の割合(%)
グアム	18	0	0	0	497	41	66	–25	290	58.4%
ミクロネシア	1	0	0	0	15	3	2	1	11	73.3%
サイパン	3	0	0	0	50	34	33	1	22	44.0%
マーシャル諸島	1	0	0	0	17	0	0	0	6	35.3%
台湾	1,041	24	12	12	36,841	8,242	6,988	1,254	8,929	24.2%
フィリピン	367	40	30	10	12,331	3,144	3,089	55	5,361	43.5%
香港	66	2	0	2	1,520	310	229	81	375	24.7%
マカオ	2	0	0	0	44	4	2	2	13	29.5%
マレーシア	251	13	9	4	6,798	1,112	837	275	1,693	24.9%
シンガポール	73	1	2	–1	1,808	288	252	36	670	37.1%
ブルネイ	2	0	0	0	38	7	3	4	3	7.9%
タイ	278	10	7	3	7,497	1,151	1,104	47	2,549	34.0%
日本	3,225	19	51	–32	101,781	9,007	10,817	–1,810	11,457	11.3%
韓国	2,117	71	45	26	81,354	14,693	16,676	–1,983	14,871	18.3%
中国	491	210	29	181	13,362	8,922	3,881	5,041	4,839	36.2%
モンゴル	6	0	0	0	97	13	14	–1	49	50.5%
カンボジア	5	2	0	2	87	48	10	38	14	16.1%
ラオス	1	0	0	0	20	0	0	0	7	35.0%
合計	7,948	392	185	207	264,157	47,019	44,003	3,016	51,159	19.4%

＊年度末クラブ数・会員数にはステータス・クオも含む

会員数上位10カ国の情勢

［2012年6月30日現在］国際本部集計

●会員数比、クラブ数比

国及び地域	クラブ数	結成	解散	純増減	会員数	新入	退会	純増減	女性会員数	女性会員の割合(%)
アメリカ	12,246	115	323	–208	347,170	36,998	47,455	–10,457	91,395	26.3%
インド	6,070	508	381	127	216,188	48,227	36,730	11,497	47,367	21.9%
日本	3,225	19	51	–32	101,781	9,007	10,817	–1,810	11,457	11.3%
韓国	2,117	71	45	26	81,354	14,693	16,676	–1,983	14,871	18.3%
ドイツ	1,506	29	2	27	50,478	2,829	2,014	815	8,273	16.4%
イタリア	1,325	15	13	2	46,012	3,629	5,045	–1,416	9,222	20.0%
ブラジル	1,563	20	31	–11	42,179	6,329	5,587	742	15,900	37.7%
カナダ	1,629	20	31	–11	38,093	4,021	4,846	–825	10,017	26.3%
台湾	1,041	24	12	12	36,841	8,242	6,988	1,254	8,929	24.2%
フランス	1,234	19	18	1	28,170	2,483	2,719	–236	5,173	18.4%
その他	14,119	824	924	–100	353,242	59,802	51,525	8,277	103,171	29.2%
合計	46,075	1,664	1,831	–167	1,341,508	196,260	190,402	5,858	325,775	24.3%

＊年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

複合地区・準地区情勢図

［2012年6月30日］国際本部集計

地区	クラブ数	クラブ純増減	会員数	新入	退会	会員純増減	平均会員数
330-A	204	4	4,994	612	545	67	24.5
330-B	177	–2	4,914	543	566	–23	27.8
330-C	94	–4	2,305	165	260	–95	24.5
小計	475	–2	12,213	1,320	1,371	–51	25.7
331-A	72	1	2,413	241	279	–38	33.5
331-B	89	–1	2,452	221	251	–30	27.6
331-C	53	–4	1,766	148	267	–119	33.3
小計	214	–4	6,631	610	797	–187	31.0
332-A	65	–1	1,738	158	138	20	26.7
332-B	55	0	2,257	212	173	39	41.0
332-C	76	–1	1,541	111	103	8	20.3
332-D	76	0	1,944	153	165	–12	25.6
332-E	58	0	1,810	125	131	–6	31.2
332-F	51	0	1,282	107	112	–5	25.1
小計	381	–2	10,572	866	822	44	27.7
333-A	78	1	2,823	235	260	–25	36.2
333-B	54	–3	1,472	144	255	–111	27.3
333-C	139	1	3,439	245	343	–98	24.7
333-D	53	1	2,055	217	238	–21	38.8
333-E	77	–1	2,746	216	279	–63	35.7
小計	401	–1	12,535	1,057	1,375	–318	31.3

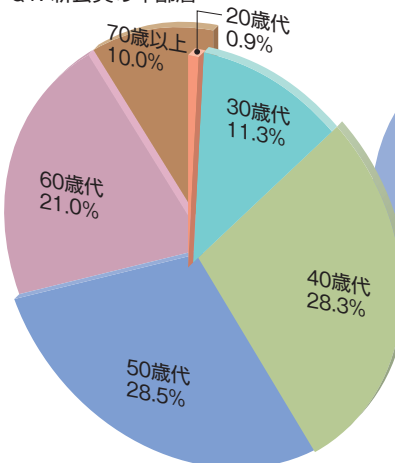
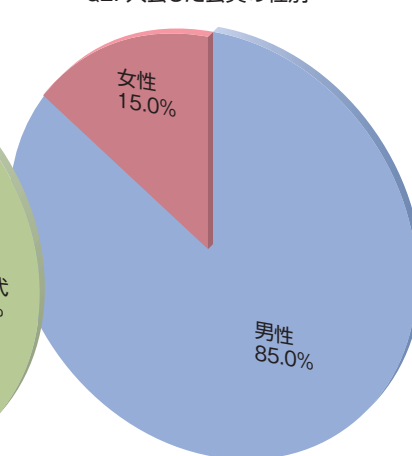
地域	クラブ数	クラブ純増減	会員数	新入	退会	会員純増減	平均会員数
334-A	122	1	5,187	384	465	–81	42.5
334-B	82	0	3,468	301	337	–36	42.3
334-C	82	–2	3,107	268	317	–49	37.9
334-D	96	–1	3,799	243	334	–91	39.6
334-E	52	–1	1,983	153	208	–55	38.1
小計	434	–3	17,544	1,349	1,661	–312	40.4
335-A	95	–3	2,305	171	316	–145	24.3
335-B	180	–9	5,440	464	718	–254	30.2
335-C	120	–1	3,876	332	388	–56	32.3
335-D	66	–2	1,918	135	215	–80	29.1
小計	461	–15	13,539	1,102	1,637	–535	29.4
336-A	151	–1	5,471	437	583	–146	36.2
336-B	96	–1	3,047	262	359	–97	31.7
336-C	101	0	3,401	241	292	–51	33.7
336-D	99	–3	3,131	255	378	–123	31.6
小計	447	–5	15,050	1,195	1,612	–417	33.7
337-A	116	–1	4,351	415	488	–73	37.5
337-B	73	0	2,311	264	227	37	31.7
337-C	84	0	3,088	344	333	11	36.8
337-D	80	–1	2,346	257	298	–41	29.3
337-E	59	2	1,601	228	196	32	27.1
小計	412	0	13,697	1,508	1,542	–34	33.2
合計	3,225	–32	101,781	9,007	10,817	–1,810	31.6

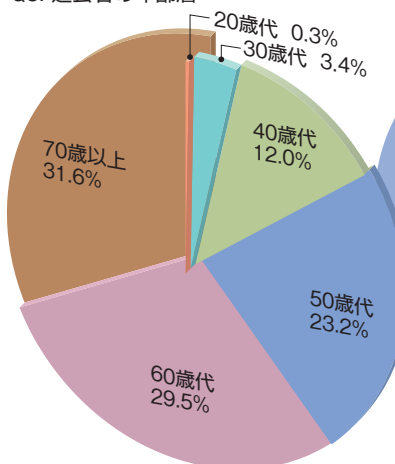
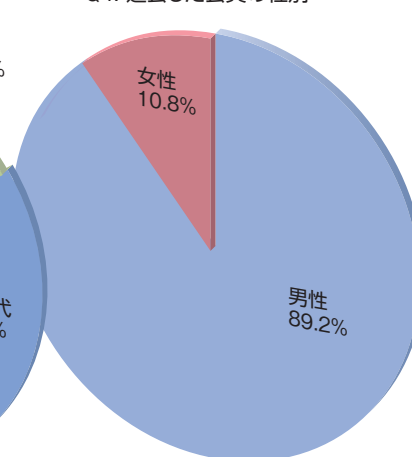
クラブ・アンケート

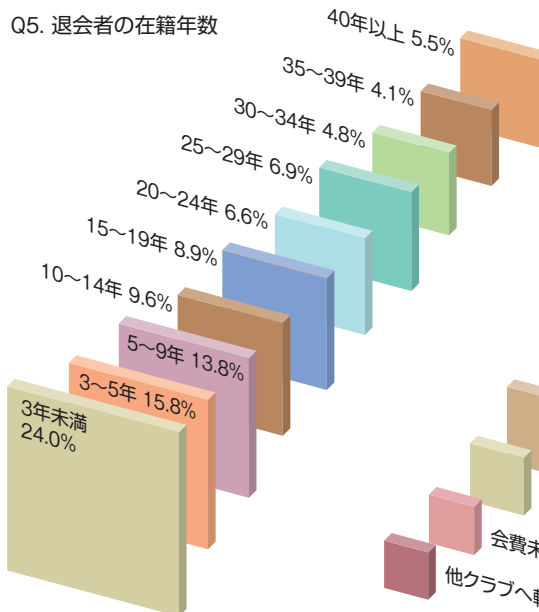
［2012年7月〜8月］ライオン誌日本語版事務所集計

調査時期／2012年7月12日〜8月10日
調査対象／全国　3,220クラブ
回答数／1,575クラブ
回収率／48.9%
調査機関／ライオン誌日本語版事務所

複合地区	330	331	332	333	334	335	336	337	合計
クラブ数（2012.7.31）	472	214	381	399	434	461	447	412	3,220
回答数	220	100	176	176	280	238	230	155	1,575
回答率	46.6%	46.7%	46.2%	44.1%	64.5%	51.6%	51.5%	37.6%	48.9%

Q1. 昨年度（2011-12年度）中に入会した会員の年齢層
1. 20歳代 ……0.9%
2. 30歳代 ……11.3%
3. 40歳代 ……28.3%
4. 50歳代 ……28.5%
5. 60歳代 ……21.0%
6. 70歳以上 ……10.0%

Q2. 昨年度（2011-12年度）中に入会した会員の性別
1. 男性 ……85.0%
2. 女性 ……15.0%

Q3. 昨年度（2011-12年度）中に退会した会員の年齢層
1. 20歳代 ……0.3%
2. 30歳代 ……3.4%
3. 40歳代 ……12.0%
4. 50歳代 ……23.2%
5. 60歳代 ……29.5%
6. 70歳以上 ……31.6%

Q4. 昨年度（2011-12年度）中に退会した会員の性別
1. 男性 ……89.2%
2. 女性 ……10.8%

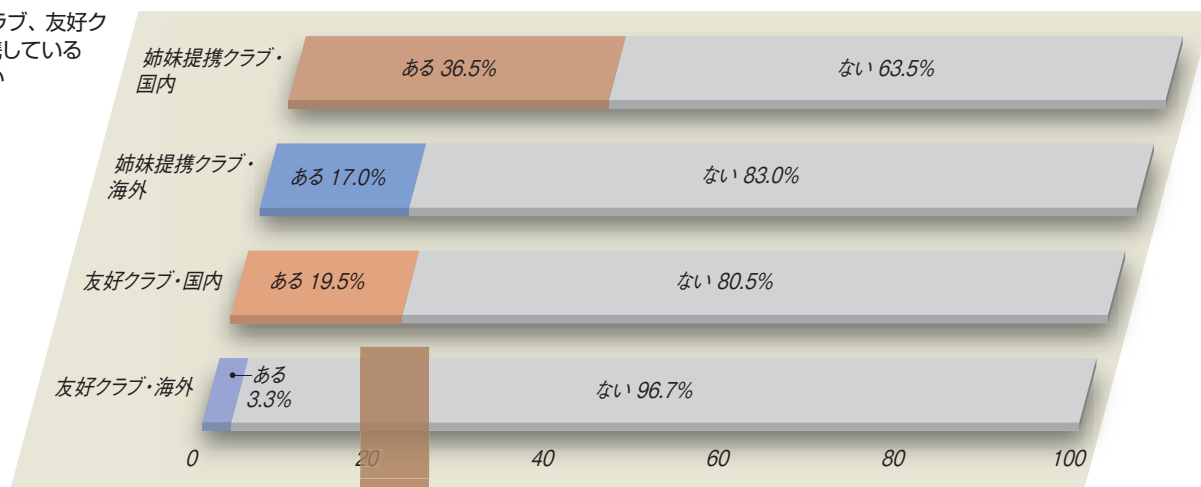
Q5. 昨年度（2011-12年度）中に退会した会員の在籍年数
1. 3年未満 ……24.0%
2. 3〜5年 ……15.8%
3. 5〜9年 ……13.8%
4. 10〜14年 ……9.6%
5. 15〜19年 ……8.9%
6. 20〜24年 ……6.6%
7. 25〜29年 ……6.9%
8. 30〜34年 ……4.8%
9. 35〜39年 ……4.1%
10. 40年以上 ……5.5%

Q6. 昨年度（2011-12年度）中に退会した会員の退会理由
1. 死亡 ……11.2%
2. 健康上の理由 ……21.8%
3. 仕事上の理由 ……43.8%
4. 長期欠席 ……4.8%
5. 他の会員と不和 ……2.4%
6. 他クラブへ転籍 ……1.6%
7. 転勤・転居 ……8.6%
8. 引退・代替わり ……4.1%
9. 会費未払い ……1.7%

Q9. 例会の時間帯
その他 1.5%
昼と夜1回ずつ 16.4%
昼 22.3%
夜 59.8%
Q7. 会員の年代別人数
80歳代 6.2%
90歳以上 0.6%
20歳代 0.2%
30歳代 3.4%
70歳代 21.0%
40歳代 12.7%
50歳代 22.0%
60歳代 33.9%
Q8. 会員の平均年齢
平均年齢 61.7歳

Q10. 例会会場
(複数回答可)
ホテル・旅館 48.1
レストラン・飲食店 23.7
貸し会議室 17.4
公共施設 14.7
クラブ事務局 11.2
その他 8.1
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%

Q11. 例会食の有無
あり・なし1回ずつ 3.1%
なし 3.7%
その他 2.2%
あり 91.0%
Q12. 会食費の徴収方法
その他 4.4%
実費徴収 9.9%
会費に含み徴収 85.7%

Q13. 例会案内の通信手段
(複数回答可)
ハガキ・文書 18.2
ファクス 86.9
Eメール(携帯電話へ送信) 13.5
Eメール(パソコンへ送信) 37.6
電話 11.3
その他 3.7
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%

Q14. 姉妹クラブ、友好クラブとして提携しているクラブがあるか

	ある	ない
姉妹提携クラブ・国内	36.5%	63.5%
姉妹提携クラブ・海外	17.0%	83.0%
友好クラブ・国内	19.5%	80.5%
友好クラブ・海外	3.3%	96.7%

Q15. 姉妹・友好提携している場合、いくつのクラブと提携しているか

	1クラブ	2クラブ	3〜9クラブ	10クラブ以上
姉妹提携クラブ・国内	439	109	22	5
姉妹提携クラブ・海外	214	38	12	3
友好クラブ・国内	187	50	45	25
友好クラブ・海外	47	4	1	0

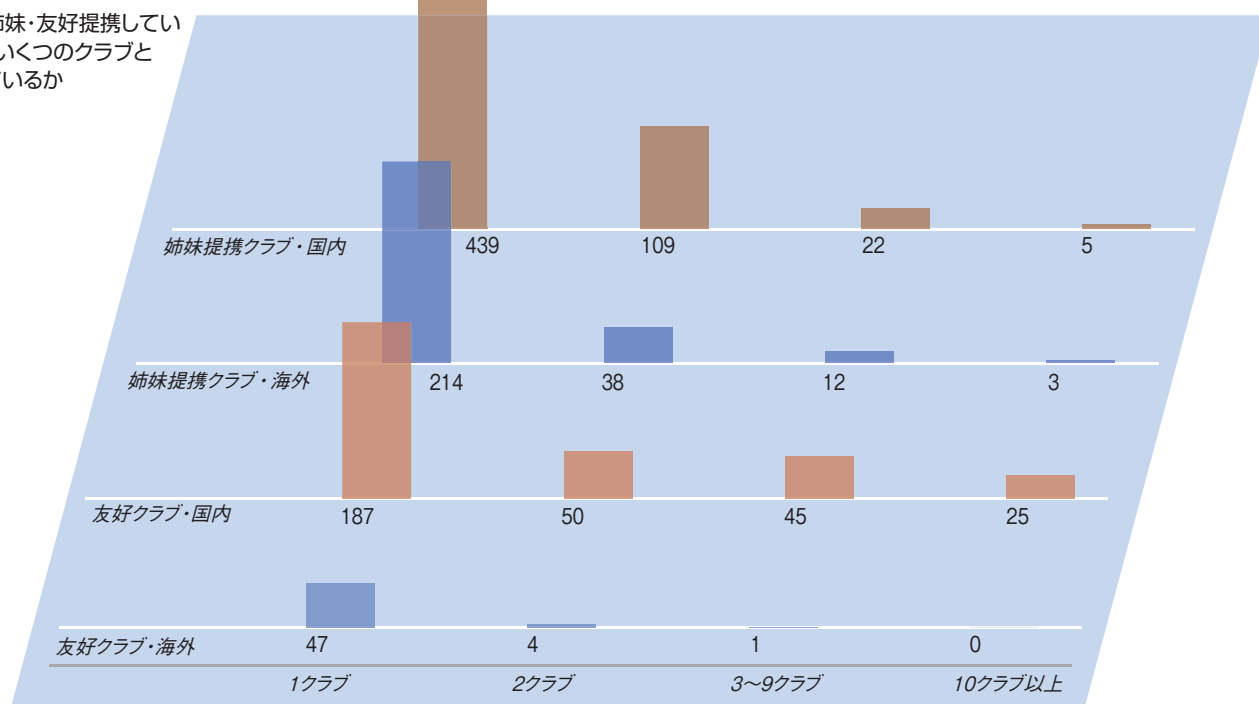
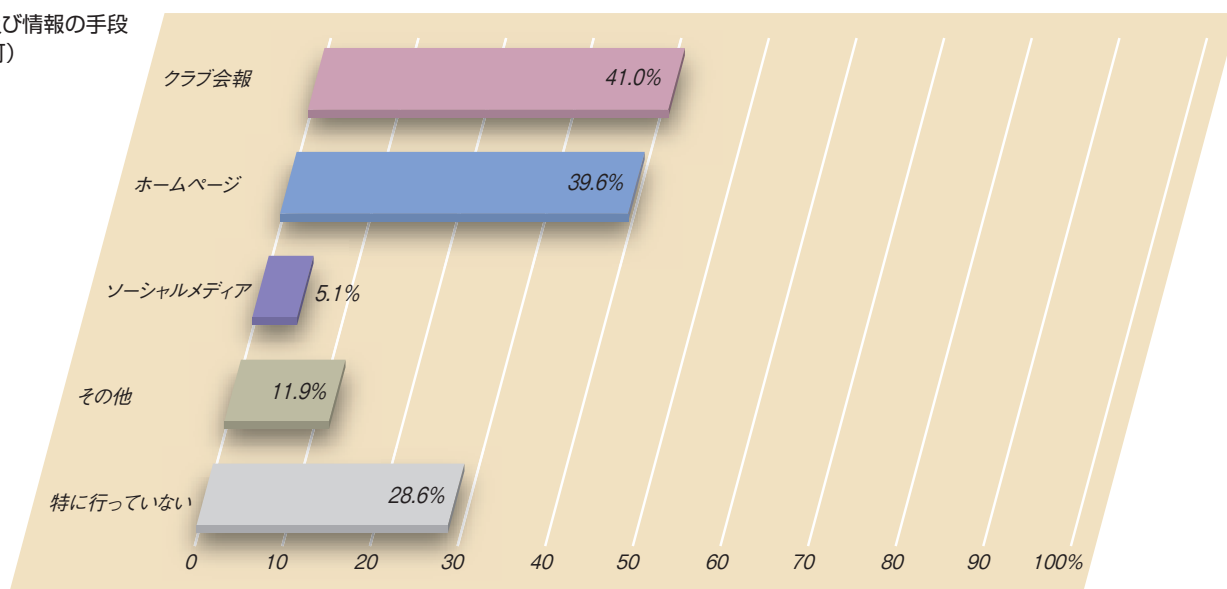
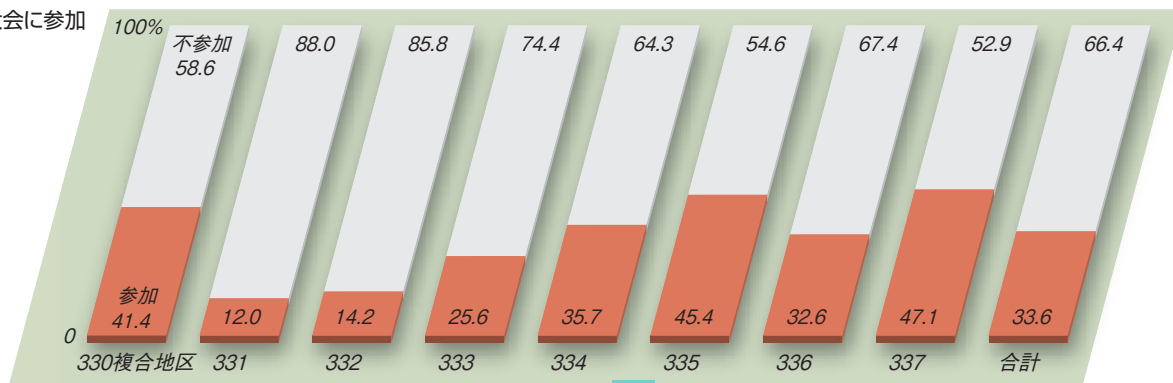
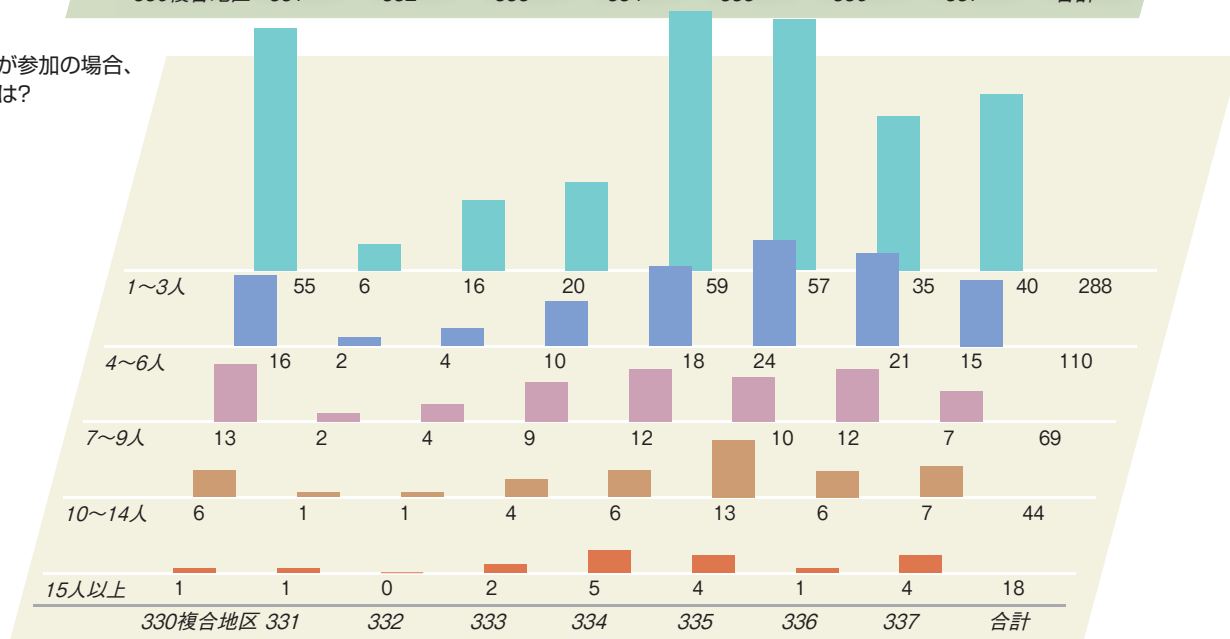
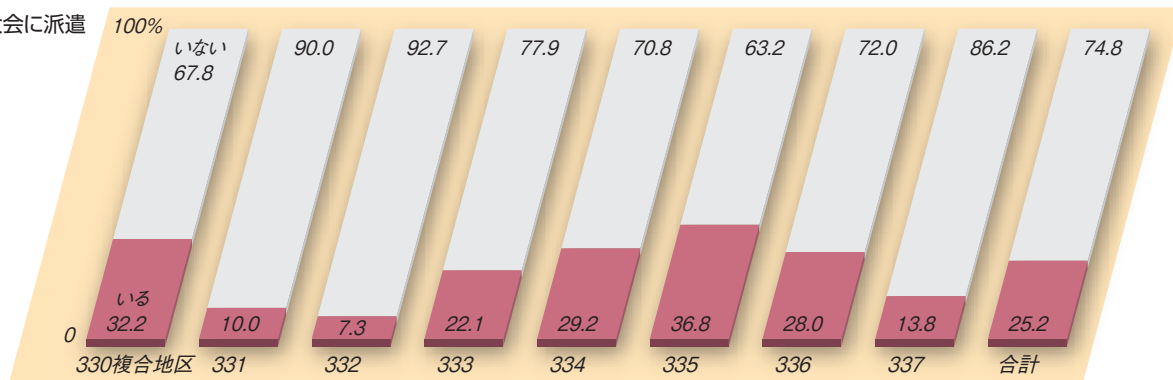
Q16. PR及び情報の手段
（複数回答可）

Q17. 釜山国際大会に参加したか

330複合地区	331	332	333	334	335	336	337	合計
不参加	88.0	85.8	74.4	64.3	54.6	67.4	52.9	66.4
参加	12.0	14.2	25.6	35.7	45.4	32.6	47.1	33.6

	不参加	参加
331	58.6	41.4

Q18. Q17が参加の場合、参加会員数は?

	331	332	333	334	335	336	337	合計
1〜3人	55	6	16	20	59	57	35	40	288
4〜6人	16	2	4	10	18	24	21	15	110
7〜9人	13	2	4	9	12	10	12	7	69
10〜14人	6	1	1	4	6	13	6	7	44
15人以上	1	1	0	2	5	4	1	4	18

Q19. 釜山国際大会に派遣した代議員の有無

Q20. 代議員の大会参加費用のクラブ負担・補助
(複数回答可)

アクティビティ地区別構成比

［2011・12年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

複合地区	準地区	件数	1クラブ当たり件数	金額合計	1件当たり金額
330	330-A	3,383	16.6	216,069,757	63,869
	330-B	4,288	24.2	202,802,032	47,295
	330-C	1,940	20.6	78,721,966	40,578
小計		9,611	20.2	497,593,755	51,773
331	331-A	1,450	20.1	126,648,811	87,344
	331-B	1,009	11.3	59,417,302	58,887
	331-C	1,052	19.8	46,757,305	44,446
小計		3,511	16.4	232,823,418	66,313
332	332-A	983	15.1	35,820,354	36,440
	332-B	940	17.1	46,665,605	49,644
	332-C	835	11.0	57,288,776	68,609
	332-D	1,406	18.5	60,217,147	42,829
	332-E	1,361	23.5	51,498,219	37,839
	332-F	531	10.4	14,376,510	27,074
小計		6,056	15.9	265,866,611	43,901
333	333-A	2,137	27.4	74,332,729	34,784
	333-B	939	17.4	40,710,118	43,355
	333-C	3,966	28.5	176,249,663	44,440
	333-D	1,493	28.2	70,691,129	47,348
	333-E	2,736	35.5	115,349,244	42,160
小計		11,271	28.1	477,332,883	42,351

複合地区	準地区	件数	1クラブ当たり件数	金額合計	1件当たり金額
334	334-A	2,832	23.2	459,594,805	162,286
	334-B	2,644	32.2	200,158,148	75,703
	334-C	1,732	21.1	136,247,089	78,665
	334-D	2,541	26.5	153,580,770	60,441
	334-E	1,487	28.6	125,368,584	84,310
小計		11,236	25.9	1,074,949,396	95,670
335	335-A	3,512	37.0	175,206,441	49,888
	335-B	8,317	46.2	437,856,328	52,646
	335-C	5,822	48.5	313,406,163	53,831
	335-D	1,673	25.3	103,115,902	61,635
小計		19,324	41.9	1,029,584,834	53,280
336	336-A	4,496	29.8	197,261,648	43,875
	336-B	1,730	18.0	120,713,882	69,777
	336-C	2,642	26.2	144,821,246	54,815
	336-D	2,638	26.6	109,223,757	41,404
小計		11,506	25.7	572,020,533	49,715
337	337-A	4,589	39.6	243,362,092	53,032
	337-B	2,008	27.5	79,470,050	39,577
	337-C	1,875	22.3	96,160,590	51,286
	337-D	1,403	17.5	73,840,479	52,630
	337-E	1,520	25.8	67,293,208	44,272
小計		11,395	27.7	560,126,419	49,155
合計		83,910	26.0	4,710,297,849	56,135

主要アクティビティ構成比

［2011・12年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

ーラム直前情報

第51回東洋・東南アジア・ライオンズ・フォーラム
福岡市／2012年11月８日～11日

フォーラムは東洋・東南アジア地域の会員が集い交流しながら、協会の目的や方針への理解を深める機会。しかし、近年のフォーラムはお祭りムード、物見遊山ムードが先行しがちだ。日本で７年ぶりの開催となる福岡フォーラムでは、参加した会員にライオンズ活動の糧となる経験を持ち帰ってもらおうと、多彩なセミナーや、参加者同士のディスカッションでテーマを深く掘り下げるミニ・フォーラムが企画されている。

地球環境セミナー
Global Environment Seminar

日時 11月9日（金） 9:30～12:00
場所 福岡サンパレスホール

総合司会
加藤登紀子氏
（歌手・元国連環境計画親善大使）

アジアの生活環境問題に取り組む

基調講演
「アジアの水事情について」
国連ハビタット水と衛生部門コーディネーター
アンドレ・ジーカス氏

事例発表

❶ネパール「村おこしとコーヒー栽培」
ネパール児童教育振興会 理事　ダルマ・アディカリ 氏

❷インドネシア「マングローブ植林とエビ養殖池の再生」
シドアルジョ水産専門学校 学長　エンダン・スベディ 氏

❸マレーシア「ゴミ埋立て技術と土地の有効活用」
福岡大学工学部 教授　松藤 康司 氏

❹カンボジア「環境国際協力と水ビジネス」
北九州市 環境局長　今永 博 氏

YCEセミナー
Youth Camps & Exchange Seminar

日時 11月8日（木） 14:00～19:00
場所 学校法人高木学園 福岡国際医療福祉学院（ももち国際ホール）

第1部
パネル・ディスカッション
14:00～16:00
YCEの明日を考える
～アジアから若きリーダーを世界へ！～

《特別講師》
2007-08年度地区ガバナー（台湾）
L. Chang Lu-Chang
2011-12年度地区ガバナー（マレーシア）
L. Dr. Tan Tsu Kun
2011-12年度地区ガバナー（マレーシア）
L. Shawn Kean Song Lee

特別講師に加えて、日本からもベテラン3人が参加。オリエンテーション・カリキュラム、ユースキャンプ、YCEウェブサイト等の国際的な構築についてディスカッションする。

第2部
交流会（ヒルトン福岡シーホーク）
17:00～19:00　登録料：1万円
食事を共にし友情を温める

福岡フォ

Photo:Fumio Hashimoto

ソーシャルメディア・セミナー
Social Media Seminar

日時 11月10日(土) 10:00～12:00
場所 福岡国際会議場409+410号室

講師 **牛島清豪** 氏
㈱ローカルメディアラボ代表取締役
佐賀新聞社を退職後、地域メディアコンサルタント、メディアプランナーとして活躍中

地域を超えた人や組織のネットワーク、一刻を争う災害救援、そして広く社会に向けたPRに、今や欠かすことの出来ないソーシャルメディア。ライオンズクラブにおけるソーシャルメディア活用を考える。

レディース・フォーラム
Ladies' Forum

日時 11月10日(土)
13:00～16:00
場所 福岡国際会議場多目的ホール

第1部 講演
時代の曲がり角に立って

衆議院議員
民主党・無所属会派
田中眞紀子 氏

第2部
目指せ！ 女性会員増強！
- ライオンズのすばらしさ
- 女性タスクフォース
- 女性会員増強を目指して及び教育

10:00～17:00 福岡国際会議場２階フロアにおいて
- 着物で綴る女の一生（着物展示）
- 抹茶とお菓子サービス
- 九州の女　作家展及び販売

＊参加される方はOSEALフォーラムにご登録をお願いします。
＊男性の参加も大歓迎です。
＊入場、茶菓のサービスは無料です。

日本語セミナー
明日のライオンズを考える

11月10日(土)
14:30〜16:00
福岡国際会議場501号室

現職の国際理事を始め、日本を代表するリーダーによるパネル・ディスカッションで、「明日のライオンズ」について考える。日本語セミナーの一環として開かれる「アラート」「リーダーシップ」「ライオンズクエスト」の三つのミニ・フォーラムから提言を受けて、会場の参加者の意見も交えた双方向ディスカッションで、ライオンズ・ライフの糧となるセミナーとする。

ミニ・フォーラム
アラートフォーラム
Alert Forum

413+414号室

10:00〜11:30
事例報告会

11:30〜12:30
合同懇親ティータイム

12:30〜14:00
グループ･ディスカッション

「これでいいのか？　ライオンズの緊急災害支援」をテーマに、いつ起こるとも知れぬ小規模・中規模・大規模災害（国内外）に対し、緊急・火急にライオンズクラブとして果たすべき役割、及びライオンズ会員として何が出来るかを考える。特に、こんなことがあった・こんなことで困った・こんな支援がうれしかったなど、東日本大震災被災地のライオンズから生の声を伺いながら、ライオンズとしての支援体制を多角的に検証する。また全クラブを対象とした「アラート･アンケート」を実施し、それらの結果も紹介しつつ、後半では、より実践的な取り組みへとつなげていくため、参加会員によるグループ･ディスカッションを行う。

ミニ・フォーラム
ライオンズクエストフォーラム
LionsQuest Forum

411+412号室

10:00〜11:30
グループ·ディスカッション

11:30〜12:30
合同懇親ティータイム

12:30〜14:00
事例報告会

現在、ライオンズクエスト·ワークショップ修了者は全国で1万3千人を超え、実践校も45校に及んでいる。が、普及が進む一方、普及活動に当たっている会員は、さまざまな問題や困難を感じている。そこで今回のセミナーでは、ライオンズクエストに携わる全国の会員により、問題点や困っている状況を掘り起こし、具体的にどうすれば良いのか、参加者全員で考える機会とする。また、プログラム従事者が常に情報を共有出来るようなネットワークの構築に向け、その基礎を作ることも視野に入れている。前半は参加者によるグループ·ディスカッション、後半はプログラム普及活動の現状及び今後の見通しについてパネル·ディスカッションを実施する。

ミニ・フォーラム
リーダーシップフォーラム
Leadership Forum

501号室

10:00〜11:30
事例報告会

11:30〜12:30
合同懇親ティータイム

12:30〜14:00
グループ·ディスカッション

多くの方がリーダーシップを経験則で学んでこられている。ライオンズクラブには優秀なリーダーが多く、それ故に、意見の衝突でチームとしてまとまらないことも多々ある。それをまとめていくのも、ライオンズのリーダーシップの一端であろう。問題解決力を含め、今求められているリーダーシップとは何かを考える。各地区の青年アカデミー委員会の体験発表やパネル·ディスカッション、グループ·ディスカッションにより、多種多様な意見交換の場とする。また、このミニ·フォーラムを通じて地区を超えた出会いの機会を持ち、友好を深めた参加者がモチベーションを高め、それがライオンズの活性化に結び付くことを期待している。

主会場はベイエリアのコンベンション・ゾーン

開会式や各種セミナーの会場となるのは、博多湾に面したコンベンション・ゾーン。繁華街の天神からは約1.5キロ、博多駅からも約2.5キロとアクセスの利便性が高く、各施設とも充実した設備を備えている。

フォーラム期間中は市内8ホテル、福岡空港、博多駅と会場を結ぶシャトルバスが運行される。詳しくは、福岡フォーラム公式ウェブサイト（www.oseal2012.com）で確認を。

▲**マリンメッセ福岡**：開会式会場

▲**福岡国際会議場**：登録・各種セミナー会場

▲**福岡サンパレス**：地球環境セミナー会場

第51回OSEALフォーラム日程（8月末現在）

●11月8日（木）

時間	行事	会場
6:30～17:00	**ゴルフ・トーナメント**	麻生飯塚ゴルフ倶楽部
9:00～17:00	**登録受付**	福岡国際会議場
14:00～19:00	**YCEセミナー／交流会**	福岡国際医療福祉学院 ヒルトン福岡シーホーク
14:30～15:00	**記者会見**	本部ホテル
15:30～17:00	**第2回ステアリング委員会会議**	本部ホテル
17:00～18:00	**決議委員会予備会議**	本部ホテル
17:30～19:00	**GMT／GLT会議**	本部ホテル
21:30～22:30	**コーカス・ミーティング**	本部ホテル

●11月9日（金）

時間	行事	会場
8:00～ 9:00	**第1回協議会議長と地区ガバナーの会議**	本部ホテル
9:00～17:00	**登録受付**	福岡国際会議場
9:30～10:30	**国際会長と地区ガバナーの会議**	本部ホテル
9:30～12:00	**地球環境セミナー**	福岡サンパレスホール
10:00～17:00	**フード・フェスティバル／物産展**	マリンメッセ福岡特設会場
10:50～11:50	**国際会長とクラブ会長のセミナー**	本部ホテル
13:30～17:00	**開会式**	マリンメッセ福岡／国際会議場
18:00～19:00	**レセプション（日本・韓国・香港）**	ホテル日航福岡

●11月10日（土）

時間	行事	会場
8:30～ 9:30	**第2回協議会議長と地区ガバナーの会議**	本部ホテル
9:00～17:00	**登録受付**	福岡国際会議場
10:00～11:00	**「奉仕の世界」国際会長テーマ・セミナー**	本部ホテル
10:00～12:00	**ソーシャルメディア・セミナー**	福岡国際会議場
10:00～14:00	**アラート・ミニフォーラム**	福岡国際会議場
10:00～14:00	**リーダーシップ・ミニフォーラム**	福岡国際会議場
10:00～14:00	**ライオンズクエスト・ミニフォーラム**	福岡国際会議場
11:00～12:00	**LCIFセミナー**	本部ホテル
11:30～12:30	**ミニフォーラム参加者懇親ティータイム**	福岡サンパレスホテル
13:00～14:00	**第1副地区ガバナーの会議**	本部ホテル
13:00～16:00	**レディース・フォーラム**	福岡国際会議場
14:00～15:00	**英語セミナー**	福岡国際会議場
14:00～15:00	**中国語セミナー**	福岡国際会議場
14:00～15:00	**韓国語セミナー**	福岡国際会議場
14:30～16:00	**日本語セミナー「明日のライオンズを考える」**	福岡国際会議場
17:00～18:00	**決議委員会会議**	本部ホテル
17:30～18:30	**第52回OSEALフォーラム シンガポール・ナイト**	本部ホテル
19:00～22:00	**国際会長歓迎晩餐会**	本部ホテル

●11月11日（日）

時間	行事	会場
8:30～ 9:30	**第3回協議会議長と地区ガバナーの会議**	本部ホテル
10:00～12:00	**閉会式**	本部ホテル

＊本部ホテル：ホテルニューオータニ博多

第51回 OSEALフォーラムin福岡

2012年11月8日(木)〜11月(日)　大会の主なスケジュール(一般会員向け)

初日 8日（木曜日）

06:30〜17:00　国際会長杯ゴルフ･トーナメント

場所 麻生飯塚ゴルフ倶楽部　定員 先着270名　登録料 ★10,000円（プレー代含む）

14:00〜19:00　YCEセミナー

- パネル･ディスカッション（14:00〜16:00）　テーマ「YCEの明日を考える」　場所 福岡国際医療福祉学院
- 交流会（17:00〜19:00）　場所 ヒルトン福岡シーホーク　登録料 ★10,000円

2日目 9日（金曜日）

09:30〜12:00　地球環境セミナー

テーマ「アジアの生活環境問題」
場所 福岡サンパレスホール
総合司会 加藤登紀子さん
（歌手・元国連環境計画親善大使）

九州のフードフェスティバル
Kyushu Food Festival
時間 10:00〜17:00
場所 マリンメッセ福岡特設会場

13:30〜17:00　開会式　場所 マリンメッセ福岡

◎「TAO」ライブ
観客動員数500万人！ 世界が熱狂！
脅威のドラム・アート・パフォーマンス！

◎九州交響楽団 × 加藤登紀子さん
九州交響楽団をバックに加藤登紀子さん熱唱！

◎「阿修羅の舞」
世界チャンピオンに輝いた、若葉高校ダンス部によるパフォーマンス!

◎東北被災地ライオンズクラブとライブ中継

3日目 10日（土曜日）

10:00〜11:00　「奉仕の世界」国際会長テーマ･セミナー　場所 ホテルニューオータニ博多3F「芙蓉の間」

10:00〜12:00　ソーシャルメディア･セミナー　場所 福岡国際会議場409+410号室

11:00〜12:00　LCIFセミナー　場所 ホテルニューオータニ博多3F「芙蓉の間」

10:00〜14:00　ミニフォーラム　場所 福岡国際会議場
- ライオンズクエスト（100名）
- リーダーシップ（250名）
- アラート（100名）

11:30〜12:30　ミニフォーラム参加者懇親ティータイム

14:30〜16:00　日本語セミナー　テーマ「明日のライオンズを考える」　場所 福岡国際会議場

13:00〜16:00　レディース･フォーラム　場所 福岡国際会議場

第1部 講演「時代の曲がり角に立って」田中眞紀子さん（元外相）
第2部 目指せ！女性会員増強！
・着物で綴る女の一生（展示）　・抹茶とお菓子サービス 等　※男性も大歓迎

最終日 11日（日曜日）

10:00〜12:00　閉会式　場所 ホテルニューオータニ博多4F

大会登録料 10,000円
★印は別途登録料が必要です

登録等の各種お問い合わせ　第51回OSEALフォーラム組織委員会（ホテルニューオータニ博多内）　TEL 092-741-8601

被災地のライオンズは今

福島県・猪苗代、飯舘ライオンズクラブ

厳しい避難生活を送るメンバーに 合同例会でひと時の安らぎと励ましを

8月24日、夏の太陽が照りつける猪苗代湖畔の上戸浜で、猪苗代ライオンズクラブ（大竹始会長／44人）と飯舘ライオンズクラブ（赤石澤栄会長／31人）の合同例会及び親睦納涼家族会が開かれた。全村避難により休会状態を余儀なくされている飯舘ライオンズクラブからの出席者は9人。予定では20人ほど参加のはずが、仕事や、やむを得ぬ事情で欠席が増えてしまった。長引く避難生活の中、猛暑の影響もあってか、会員の身辺にお年寄りの不幸が相次いだのだという。「このひと時、全てを忘れて、思い切り楽しんでほしかったのに」と、赤石澤会長はとても残念そうだった。

「復興に向けて前進していきたい」とあいさつする飯舘ライオンズクラブの赤石澤会長

この両クラブを結びつけたのは震災後の支援活動だ。2010‐11年度山口一男地区ガバナーの地元、猪苗代は全国から寄せられた救援物資の受け入れ拠点となり、キャビネット構成員を始めとする猪苗代ライオンズクラブのメンバーが支援に当たった。飯舘村には、その高い放射線量が発表される前に、山口ガバナー、大川原勝人地区幹事（当時）らが女性用下着や四国のミカンなど、トラック2台分の物資を届けていた。その縁で今年1月、福島市内で開かれた飯舘ライオンズクラブの新年会に山口元ガバナーら6人が招かれ、その際に当時第1副会長だった大竹会長が、「次は猪苗代で合同例会を」と提案したのだった。

合同例会では猪苗代ライオンズクラブから飯舘ライオンズクラブへ、青少年育成のために活用してほしいと支援金を贈呈。続く親睦納涼家族会では猪苗代のメンバーと家族が心尽くしのバーベキューでもてなして、ビンゴゲームやカラオケで大いに盛り上がった。

例会あいさつで「皆さんの心情を考えると胸が苦しい」と声を詰まらせた大竹会長は、親睦会で震災を境にした自らの変化を語った。「震災前はクラブを退会するつもりでした。奉仕と言ってもしょせんは自己満足ではないかと感じていたんです。しかし震災が起きて全国から次々に物資が届き、沿岸部への搬送などの活動に取り組むうち、ライオンズの真の良さに気付きました」

先の見えない復興への願い

飯舘ライオンズクラブは昨年4月、村全域が計画的避難区域に指定されたのを受けて、活動休止となった。メンバーが避難した先はバラバラだが、3カ月に1回ほどのペースで会合を開いている。15人から20人ほどが集まって、近況を報告したり、情報を交換したりする機会だが、何よりも気心の通じた仲間と顔を合わせることがうれしい。

親睦納涼家族会の幕開けに、山口元地区ガバナーの発声で乾杯

メンバーは現在、村役場がある福島市に18人、南相馬市や伊達市、川俣町など県内の他の市町村に12人、1人は東京へと避難している。生まれ育った故郷であり、これまで事業を築き上げてきた地である村を離れ、仮設住宅や借り上げ住宅に暮らしながら、いつ終わるともしれない困難に挑む日々だ。

赤石澤会長は昨年11月、福島市松川町に「中華琥珀」の仮設店舗を開いた。店は飯舘村の約200世帯が入居する仮設住宅の敷地内にあり、村の人たちが慣れ親しんだラーメンを提供している。役場を退職した後、農業を営んでいるライオン菅野哲（ひろし）の名刺には「土と生きる　日本の百姓」とある。今は福島市郊外で放置されていた農地1ヘクタールを借り、近隣に避難している村民にも呼び掛けて共に30種類の野菜を作る。避難後も村内で事業を継続している会員もいる。昨年5月、村外から通勤することなど一定条件の下、例外的に9事業所（今年8月現在は7事業所）の継続操業が認められた。その中にはメンバー3人の事業所が含まれる。元ゾーン・チェアパーソンのライオン林和伯（かずひろ）が経営する㈱ハヤシ製作所もその一つ。カメラなど精密機械部品の加工を行う同社は震災前には社員65人だったが、子どもを抱える女性ら13人が職場を離れていった。放射能への懸念から取り引きを中止された会社も1社あるという。村は今年7月に、避難指示解除準備、居住制限、帰還困難の3地域に再編されて、国の許可が必要な居住制限区域で7事業所の再開が認められた。復興や雇用確保に必要な金融や製造業が対象で、これによって、更に3人のメンバーが自動車整備などの事業を再開させている。

休会状態にある飯舘ライオンズクラブが新会員を迎えたのは昨年12月のこと。福島市内で手打ちうどんのゑびす庵の営業を再開したライオン高橋義治は、「無理矢理に入会させられました」と笑いつつ、「みんな知った顔ばかり。悩みを相談することも出来る」と話す。クラブは今後、ゑびす庵を仮の例会場にする予定だ。

「避難してからも退会者は1人も出ていません。クラブの絆を切っちゃいけない。先の見えない状況で、本当に厳しいですが、絶対に負けたくないし、逃げずに、必ず村を復興させたい。20年先の子どもたちに大切な古里を託すため。この思いは他のみんなも同じです」

と、村とクラブの復興へ向けた赤石澤会長の決意は固い。（取材／河村智子）

■国際理事
武久一郎
（徳島城山）

新任国際理事オリエンテーション報告

8月8日～10日、アメリカ・イリノイ州オークブルックにあるライオンズクラブ国際協会本部において、新任国際理事オリエンテーションが開催されました。

8月6日に成田空港を出発（いきなり飛行機が4時間遅れというアクシデントあり）、同日午後4時過ぎにシカゴ・オヘア空港に着陸しました。迎えのリムジンを依頼するため、まず電話を掛けなければなりません。何とか英語で今どこにいるか、どこで待てば良いかなどを話し、車でハイアットトロッジ・マクドナルド・キャンパスに到着。フロントでチェックインし、部屋に入りました。

空港に到着した後は、日本語のかけらもない環境にいきなり放り込まれた感じです。片言英語が何とか通じたうれしさ。しかし、早口で話し掛けられると、とても理解出来ない悔しさの中で、第1日目が始まりました。

翌7日は休息日ということで、付近を探索しました。ホテルはマクドナルドの研修施設であるハンバーガー大学に隣接しており、広大な敷地の中に散在する建物のほとんどは平屋。人に出会うことは滅多にありません。空は青く、空気はおいしく、日本では時々出ていた咳、痰が全く出なくなったのには驚きました。

朝7時過ぎにホテルに迎えの車が来て、簡単な朝食の後、午前中に3単位、午後1単位、オリエンテーションの講義が行われました。ほとんど1日中、新国際理事の他、マデン国際会長、パーマー第1副会長、プレストン第2副会長、そして国際本部の役職員数人と一緒に行動し、いろいろな会話を交わしました。

特に夕食の1時間半くらい前からは毎晩カクテル・パーティーがあり、アルコールを飲みながらスタンディングで会話を楽しみました。最初は気後れしてなかなか会話の輪の中に入れませんでしたが、意を決して片言英語で話しかけ、家族のことや日本のことなどを話題にしながら、日本からの2013年度国際第2副会長候補者への支援もお願いしました。皆さんよくご存じで、快諾して頂きました。

新国際理事たちは3日間とも一緒に行動し、朝から夜までびっしりと研修。機会がある度に親睦の時間が設けられていました。東洋・東南アジアからの私たち3人は時差ぼけがなかなか取れず、少し眠気をこらえながらの参加でした。

それにしても、国際会長以下、本部役職員の皆さんのホスピタリティーには深い感銘を受けました。私を含め英会話が十分でない数人に対しても会話の中に入るよう勧め、研修中も心の込もったお気遣いを頂き、組織として成熟していることを実感致しました。

秋の理事会は11月、マデン国際会長のお膝元、インディアナポリスで開かれます。オリエンテーションとはまた異なった厳しさがあると思われますが、国際理事としての職務を全うし、日本の皆様にも出来るだけその内容、雰囲気などをお知らせしたいと思っております。

ライオンズニュースカセット

NEWS CASSETTE

宮城・岩手の子どもたちを招いた青少年野球大会「絆・ともに頑張ろう」

331・A地区（道央／渡辺修地区ガバナー）は8月2日～3日、北海道長沼町に岩手県と宮城県の青少年野球チームを招待し、野球交流試合と意見交換会を開催した。青少年育成事業の一環としてスポーツを通じて交流・親睦を図ると共に、東日本大震災を経験した東北の子どもたちに広い大地で思い切り野球をしてほしいと企画され、332・B地区（岩手県／千葉龍二郎地区ガバナー）と332・C地区（宮城県／佐藤義則地区ガバナー）からそれぞれ3チーム、331・A地区から7チームの計13チーム、保護者や関係者を合わせて約300人が参加した。渡辺地区ガバナーの始球式に続いて熱戦が繰り広げられた後は、長沼名物のおいしいジンギスカンで昼食。意見交換会では道央地区の子どもたちから「震災の時は何を食べていたの？」「野球の練習はしていたの？」などの質問が投げ掛けられ、互いに等身大の言葉で語り合った。長沼町の姉妹都市・岩手県奥州市から参加した子どもの感想文に次の一節があった。

「震災の後、沿岸部から引っ越してきたチームメートの中に、津波で両親を亡くして、悲しい思いをした友達がいます。普通に野球をする仲間として接していますが、心の中にはきっと深い傷があるのだろうなと思います。このような友達と、これからも野球を通して、

一緒に元気よく活動していくことが僕たちに出来ることだと思います」

北海道と被災地の少年・少女たちが友情や絆を深め、震災の苦しみや悲しみを共有出来たものと思う。（情報提供：牧野修一地区PR・ライオンズ情報委員／ライオン誌サポーター）

2013～15年国際理事候補者の推薦決まる

8月10日、日本ライオンズ連絡事務所で第1回国際理事候補者選挙管理委員会（菅原雅雄委員長）が開催された。会議ではまず、2013～15年国際理事の東洋・東南アジア（OSEAL）地域の定数が3人であること、またOSEAL内の国際理事ローテーション合意により日本、韓国、中国（香港、マカオを含む）から各1人を出すことを確認。国際理事立候補者推薦手続規則にのっとり、7月31日の締め切りまでに推薦要望書が提出された、清水英徳元地区ガバナー（333複合地区／群馬県・高崎ライオンズクラブ）を、八複合地区の推す国際理事候補者として推薦することを決定した。

日本ライオンズ発祥の記念碑がパレスホテルに里帰り

8月28日、東京・千代田区のパレスホテル東京で、日本ライオンズ発祥記念碑の里帰り式が開かれた。パレスホテル（旧ホテルテート）は1952年に東京ライオンズクラブのチャーター・ナイトが開かれた場所。記念碑は69年の東京国際大会の際に建立され、除幕式には東京ライオンズクラブにチャーターを授与したエルバート元国際会長、日本へのエクステンションに尽力したゴンザレス元国際理事らが参列している。以来、碑が置かれてきたパレスホテルが09年1月から建て替えで休館となり、この間東京ライオンズクラブが保管していたが、今年5月に営業を再開したホテル側の好意で再び設置されることになった。式には河合悦子330複合地区議長、阿久津隆文330-A地区ガバナー、山浦晟暉元国際理事と東京ライオンズクラブ会員が出席。東京ライオンズクラブの長谷川健治会長が「先達の功績を伝えるため、大切に守っていきたい」とあいさつした。碑はパレスホテルのエントランス脇にあるポケットパーク内に設置されている。

釜山国際理事会で承認された東日本大震災の大規模支援事業4件

6月に韓国・釜山で開催された国際理事会において、LCIFによる東日本大震災の大規模支援事業4件計220万ドルが承認された。4件はいずれも日本病院会を通じ東日本大震災復興支援対策本部に支援要請があったもので、対策本部で検討した上、国際理事会へ提出されていた。事業内容は以下の通り。

■332-B地区（岩手県）：訪問診療用の車両整備1171万7625円

■332-C地区（宮城県）：歯科巡回診療車4194万8550円／巡回診療用ポータブルX線撮影装置2台336万円

■332-D地区（福島県）：甲状腺移動検診車2台・甲状腺超音波画像診断装置4台1億2012万円

会議録

第1回ライオン誌日本語版委員会（8月2日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：秦従道、高田順一、武久一郎各国際理事、杉浦均議長、久津間康允、茂尾実、中居雅博、小西宗仁、矢口武克、団英男、組嶽晶一、田崎登保各委員、宇田川雄弘、後藤忍、種市一二、高濱正敏、竹本實生、小田邦雄、澁田繁晴各2011・12年度委員、荘英隆、辰巳博昭、小柴登司各ITアドバイザー）①2011・12年度ライオン誌日本語版事務所「決算報告」②2011・12年度ライオン誌日本語版事務所「監査報告」③2011・12年度ライオン誌日本語版委員会「年次報告」④2012・13年度ライオン誌日本語版委員会委員長、編集長選出⑤「ライオン誌日本語版委員会方針」の確認⑥2012・13年度ライオン誌日本語版事務所予算（案）⑦8月号（9万9700部発行）出来⑧9月号記事内容の確認⑨10月号以降台割（案）と主要記事予定⑩ライオン誌ウェブマガジン／eMMR ServamA⑪その他

第1回国際理事候補者選挙管理委員会（8月10日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：菅原雅雄、照

井一美、小吹勇、丸山正芳、福永征秀、迫越正彦、住本親人各委員、杉浦均議長）
①委員長互選②国際理事立候補者推薦手続規則の確認③２０１３～15年国際理事選出の確認④推薦要望を提出した国際理事候補者⑤推薦要望の内容確認と審議⑥各選挙管理委員の意見⑦決定に伴う事務処理

解散クラブ／名称変更

■解散クラブ

８月＝秋田県・田代

■クラブ名称変更

大阪住之江→大阪すみのえ

神奈川県・横浜都筑シーサイド→横浜シーサイド

訃報

■元国際役員

ライオンアウグスティン・ソリバ（元国際会長／ブラジル）

１９７６－77年度国際理事会アポインティー、80～82年国際理事を務め、96年にカナダ・モントリオールでの国際大会で国際会長に就任。最近では11－12年度LCIFステアリング委員会委員を務めた。会員に贈られる最高の栄誉である国際親善大使賞を受賞。

ライオン坂口正一（元国際理事／奈良県・大和高田）

８月13日死去、101歳。76年度335－C地区ガバナー。任期途中で急逝された80～82年国際理事ライオン有本昌平の後任として国際会長指名により就任。国際親善大使賞受賞。

ライオン鈴木浩（東京池袋）

８月９日死去、100歳。71年度302E複合地区議長、302E－１地区ガバナー。

ライオン松田則保（福島県・保原）

８月17日死去、80歳。04年度332－D地区ガバナー、07年度332複合地区議長。

■献眼

７月＝ライオン野口功（栃木）／ライオン間中好恵（茨城県・岩井）／ライオン松岡貞雄（静岡リバティ）／ライオン松本勝子（長崎東）

2011-12年度ライオン誌日本語版事務所決算公告

貸借対照表（単位：円）　2012年6月30日現在

資産の部	252,564,179	負債の部	32,820,219
流動資産	(250,189,614)	流動負債	(7,953,768)
現金	30,734	未払金	6,750,590
普通預金	71,000,639	前受金	608,209
定期預金	150,000,000	預り金	594,969
郵便振替貯金	23,420,412		
未収入金	829,082		
貯蔵品	81,844		
頒布品	1,560,589		
前渡金	0	固定負債	(24,866,451)
前払費用	1,602,444	退職給付引当金	24,866,451
立替金	1,663,870		
仮払金	0		
		正味財産の部	219,743,960
固定資産	(2,374,565)	基金	130,000,000
有形固定資産	(271,298)	資料整備準備金	13,342,234
什器備品	271,298	事務改善等積立金	25,531,826
無形固定資産	(640,467)	為替差損準備金	25,408,786
電話加入権	239,200	未処分収支差額金	
コンピュータソフトウエア	401,267	前期繰越収支差額金	26,985,194
その他の固定資産	(1,462,800)	当期収支差額金	△1,524,080
差入保証金	1,462,800		25,461,114
合計	252,564,179	合計	252,564,179

収支計算書（単位：円）　自2011年7月1日　至2012年6月30日

科目 項目	予算額	決算額	差額
収入の部			
購読料収入	110,160,000	109,032,990	1,127,010
国際会費還付金	48,960,000	48,464,190	495,810
特別負担金	61,200,000	60,568,800	631,200
広告料収入	8,000,000	11,114,589	△3,114,589
その他収入	4,530,000	4,150,843	379,157
頒布品収支差額	2,500,000	2,151,484	348,516
受取利息	130,000	124,210	5,790
雑収入	1,900,000	1,875,149	24,851
特別収入		1,638,593	△1,638,593
事務改善等積立金取崩高		1,024,463	△1,024,463
為替差損準備金取崩高		614,130	△614,130
収入合計	122,690,000	125,937,015	△3,247,015
合計	122,690,000	125,937,015	△3,247,015
支出の部			
直接出版費	71,220,000	67,163,881	4,056,119
印刷費	43,700,000	41,139,000	2,561,000
発送事務費	13,500,000	13,896,656	△396,656
旅費交通費	4,500,000	4,868,292	△368,292
編集関係諸費	500,000	246,640	253,360
原稿料･編集費	9,000,000	6,991,150	2,008,850
広告関係諸費	20,000	22,143	△2,143
委員会費	5,450,000	4,846,409	603,591
旅費交通費	5,400,000	4,827,975	572,025
会議費			
雑費	50,000	18,434	31,566
東日本大震災被災クラブ特別費	1,100,000	1,024,463	75,537
事務費	57,931,000	54,426,342	3,504,658
人件費	33,000,000	30,843,133	2,156,867
福利厚生費	5,000,000	4,884,886	115,114
旅費交通費	1,200,000	1,187,620	12,380
通信費	1,500,000	1,504,317	△4,317
備品費	200,000	202,598	△2,598
事務用品費	900,000	1,080,752	△180,752
図書費	20,000	34,525	△14,525
消耗品費	20,000	12,102	7,898
IT関連費	1,850,000	1,804,670	45,330
顧問料	851,000	850,500	500
支払手数料	90,000	82,090	7,910
保守･修繕費	50,000	25,200	24,800
借室料	7,700,000	7,679,700	20,300
水道光熱料	300,000	138,808	161,192
租税公課	400,000	356,831	43,169
減価償却費	850,000	687,100	162,900
退職給付費用	3,500,000	2,570,356	929,644
雑費	500,000	461,091	38,909
固定資産廃棄損		20,063	△20,063
支出合計	135,701,000	127,461,095	8,239,905
当期収支差額金	△13,011,000	△1,524,080	△11,486,920
合計	122,690,000	125,937,015	△3,247,015

注・為替差損準備金より￥614,130取崩し国際会費還付金の為替差損に充てた
・事務改善等積立金より￥1,024,463取崩し東日本大震災被災クラブ特別費に充てた

ライオン指導者と技術専門家を増やすことでライオンズクエスト諮問委員会を拡大。
7. 日本大震災・津波被災地支援用資金（220万ドル）を用いて行われる四つの再建／復興事業を承認。
8. サービスラーニング・ライフスキル・ネットワーク社との1年間にわたる18万1千ドルのコンサルティング契約を承認。
9. LCIF運営方針書を次の通り改正。「per capita」を「per member basis」（いずれも会員1人当たりとの意）に変更。LCIFステアリング委員会に関わる資格を更新。表彰についての説明が記された別紙を改訂。
10. 理事会方針書第16章を次の通り改正。LCIFの銀行口座の署名者と走行距離に対する払い戻しの率をそれぞれ更新。

釜山の夜景

リーダーシップ委員会

1. 2012年4月にリーダーシップ委員会により報告された決議事項3を撤回。2012-2013年度に有効となる新たな方針を設定。これにより必修研修課題を完了した地区ガバナー・エレクトのみが地区ガバナー・エレクト・セミナー出席に関わる食事代の支払いを受ける対象となる。
2. 2012年4月にリーダーシップ委員会により報告された、国際レベルのGMT及びGLT職（会則地域リーダー、エリア・リーダー、特別エリア・アドバイザー）の任命に関する決議事項4を撤回。
3. 地区ガバナー・エレクト・セミナー・グループリーダーの宿泊費及び食費に対する払い戻しを11日分から10日分へと調整することにより理事会方針を改訂。
4. 理事会方針書第14章の継続的リーダーシップ・プログラムに関する箇所に事務的変更を加えることにより改訂。
5. 地方ライオンズ･リーダーシップ研究会補助金要請書提出に関して実践されていることを反映させるため、理事会方針書を改訂。

長期計画委員会

1. 100周年記念計画委員会の設立趣意書更新を承認。これは2012-2013年度より有効となる。

会員増強委員会

1. 自家用車利用による走行距離に対する支払許容額（1マイルにつき0.41ドル／1キロにつき0.25ドル）と、千ドル未満の国際線航空運賃に対する承認に関わる変更を反映させるため、GMT／GLT監査規定の改正を決定。
2. 自家用車利用による走行距離に対する支払許容額（1マイルにつき0.41ドル／1キロにつき0.25ドル）と食費払戻許容額（1食につき25ドルまで）の変更を反映させるため、エクステンション開発指導員と中央・東ヨーロッパ・イニシアチブの監査規定改正を決定。

PR委員会

1. PR部の広報課を視聴覚資材及びイベント、コーポレート・コミュニケーション、オンライン・コミュニケーションに分割させることにより、PR部を再編成。
2. 奉仕事業部から交付されるベスト・レオ賞の受賞者は自動的に、会長から授与される最優秀レオ賞の審査対象となることを決定。

奉仕事業委員会

1. 2011-2012年度ベスト・レオ賞受賞者を決定。
2. ベスト・レオ賞申請期限を毎年4月1日に変更。

※上記決議事項のいずれかに関する詳細は、国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）でご覧頂くか、国際本部の担当各部までEメールでお問い合わせください。

国際理事会決議事項要約

韓国・釜山
2012年6月17日〜21日

監査委員会

1. 独立監査人の検討・評価に関して、監査委員会設立趣意書を改正。

会則及び付則委員会

1. 301-A1地区（フィリピン）の2012-2013年度地区ガバナー、第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナー選挙を支持出来ないと宣言し、ライオンRuth Chuaを301-A1地区の2012-2013年度地区ガバナーに任命すると共に、2012-2013年度の第1副地区ガバナー職及び第2副地区ガバナー職は空席と宣言。これらの役職は、国際理事会が更なる措置を取るまで空席のままとなる。
2. 118-R地区（トルコ）の第2副地区ガバナー選挙に対する抗議申立てを支持し、118-R地区で行われた2012-2013年度第2副地区ガバナー選挙を無効とすると共に、2012-2013年度第2副地区ガバナー職は空席であり、第2副地区ガバナーの空席は国際及び地区の会則及び付則に従って補充されるものと宣言。更に手数料は、100ドルを差し引いた額が抗議申立人に返金されることを宣言。
3. 321-F地区（インド）、324-A1地区（インド）、335-B地区（日本）、403-A2地区（トーゴ）の第2副地区ガバナー選挙に対する抗議申立てを却下し、下記をそれぞれの地区における2012-2013年度第2副地区ガバナーと宣言。
    - ライオンRajeev Goyal - 321-F地区（インド）
    - ライオンV.S.B.Sunder - 324-A1地区 （インド）
    - ライオン北畑英樹 - 335-B地区（日本）
    - ライオンDiamilatou Aka Anghui - 403-A2地区（トーゴ）
4. 「ライオンズクラブ国際協会（インド事務局）」と呼ばれる予定の法人組織を設立するための決議を採択。
5. 会費に関して新たに定められた文言を反映させるため、理事会方針書に記載される標準版地区及び複合地区付則を改定。

大会委員会

1. 入札都市が条件として提供しなければならない客室数を、6千から5千に減少させる。

地区及びクラブ・サービス委員会

1. San Diego Brotherhoodライオンズクラブをグッドスタンディングに復帰。
2. 2012年国際大会閉会後グルジア共和国とカンボジアにおける暫定ゾーン編成を承認。
3. 新たなライオンズ国の更なる成長に向け一層の援助を提供するため、2012年国際大会閉会後ギニアビサウ共和国を403-A1地区に、またアンゴラ共和国を403-B地区に含めることを承認。
4. 新たな地区再編成案が提出され、2012年10月または2013年4月の理事会会議で承認されない限り、354複合地区の地区再編成は、2013年国際大会閉会時まで延期。
5. 理事会方針書を改正し、2012-2013年度より、地区ガバナー・エレクト・セミナーに出席する地区ガバナー・エレクトの宿泊費を9泊分、食費を7日分まで支払うことを承認。
6. ライオン坂本勇を332-D地区の2012-2013年度地区ガバナーとして任命。

財務及び本部運営委員会

1. ノーザントラストを、ライオンズクラブ国際協会の一般資金と緊急積立金の保管機関として承認。
2. 小額の赤字が見込まれる2011-2012年度第4四半期収支予想を承認。
3. 黒字となる2012-2013年度予算を承認。
4. スピーカー任務方針を変更し、準地区大会が複合地区大会と併合して行われる際には公認スピーカーの数を1人に制限することを承認。
5. 副会長のエリア・フォーラムへの旅行に関する方針を変更。
6. 会計処理手順への事務的変更を承認。
7. 地区ガバナー経費支払いについて事務的変更を加え、監査規定を明確化。
8. 地区内予算が認められる元国際理事を明確にするべく、理事会方針を改訂。

LCIF

1. インドで「セクション25」法人としてライオンズクラブ国際財団（インド事務局）を設立するための決議を承認。
2. 四大交付金優先事業として扱う期間を、糖尿病予防及び抑制プログラムについては2013年6月30日までの1年間、ライオンズクエストについては2015年6月30日までの3年間に更新。
3. 今会計年度の人道的援助交付金予算を、250万ドル増額。
4. 総額179万25ドルに及ぶ合計34件の一般援助交付金、国際援助交付金、四大交付金申請を承認。
5. 1件の交付金申請を却下。
6. ライオンズクエストの支援において豊富な経験を持つ

LCIF Update

LCIFファイル

地域社会を改善する一般援助交付金

アリー・ストライカー

自分にとっては当たり前の物やサービスも、世界中の多くの人々にとっては手の届かない場合がある。ライオンズクラブ国際財団（LCIF）の「一般援助交付金」によって、ライオンズクラブは地域住民に必要な物やサービスを提供し、地域社会の環境改善に多大な影響を与えている。

例えば、フィリピンに住む少年ジョセフ君の場合、6歳の時に親に見捨てられ、以来9年間、路上生活を続けてきた。が、最近になって彼はライオンズ・ストリート・チルドレン・ホームが提供する「我が家」を手にすることが出来た。

「毎日毎日、僕が一番困っていたのは、どうやって食べ物を手に入れるかということでした。時々は、物乞いをしたり、同じように路上で暮らす友達から分けてもらったりしていました」

とジョセフ君は話す。

フィリピンのライオンズはLCIFの一般援助交付金を受け、地域の福祉課、社会開発課と提携して、ライオンズ・ストリート・チルドレン・センターを設立した。センターでは、食料や衣服、避難所の提供や、カウンセリング、教育指導を行う。

更に、ライオンズクラブとLCIFはライオンズ・ストリート・チルドレン・センターの子どもたちのために職業訓練センターを設立した。これにより、ジョセフ君のような青少年が二度と路上で物乞いをしなくてもすむようになったばかりか、地域社会で生活するための技術を学ぶことが出来るようになった。

「僕はライオンズにとても感謝しています。僕だけではなく、他の多くの子どもたちもこの支援のおかげで助けられたからです。今、僕たちは社会に出て生活する準備が十分に出来ていると思います」

フィリピンのライオンズ・ストリート・チルドレン・センターで職業技術を学ぶ若者たち

ジョセフ君は年下の生徒たちの良いお手本となっている。

一般援助交付金を通して、地域社会は教育、技術、医療、その他さまざまなサービスを利用出来るようになる。ライオンズは、地域社会にとって最も必要なものは何かを見極め、生活環境の向上をLCIFと共に実現させている。

最大で7万5千ドルのマッチング資金を提供する一般援助交付金は、建設や設備を整える必要がある大規模なライオンズ人道支援事業のために承認される。事業内容は、多くの人々に役立つことが前提であり、具体的には、移動検診車、ホスピス、養護施設、医療機器、児童養護施設、視覚や身体に障害のある人のための施設、眼科診療所、発展途上国での学校などがある。

その活動規模が大きいため、ライオン個々人は資金調達や事業計画、現地での技術提供の奉仕活動などに多くの時間を費やし、事業を成功に導くために努力している。このような献身的な努力のおかげで、支援事業は地域社会に大きな変革をもたらし、より多くの人々の生活に変化をもたらすことが出来るのである。

一般援助交付金を通じて、ライオンズは地域社会を大きく改善することが出来る。LCIF交付金申請に関する情報はEメール（LCIF@lionsclubs.org）で。交付金申請書はLCIFの公式ウェブサイトからも入手可能だ（www.lcif.org）。

SightFirst Update

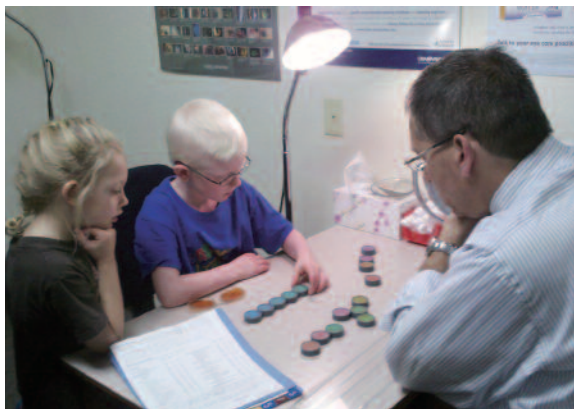
活用されている 視力ファーストⅡキャンペーン

　皆さんは、視力の世界で変化を起こすことが出来ただろうか。もし、あなたやあなたのクラブが、視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）に献金をしていれば、その答えは間違いなく「イエス」である。

　ライオンズクラブ国際財団（LCIF）を通して支援を受けた多くの人は、視力の衰えや失明に対し、恐怖を抱いていた。が、ライオンズがLCIF交付金を通して援助をすることで、彼らの視力は回復または改善し、それと同時に恐怖感も消え、自由を再び取り戻すことが出来るのだ。

　視力ファーストはLCIFの重要な失明予防プログラムとして、1990年以来、世界で3千万人以上の人々の視力を改善、または取り戻す支援をしてきた。それはアイケアの専門家のトレーニングや眼科医療サービスの提供、施設の改善などを通して実施されてきた。2005年に発足したCSFⅡは、世界中のライオンズ・メンバーやクラブ、地区からの寛大な献金によって、2億ドル以上を集めることが出来た。

　CSFⅡの資金をもって、ライオンズは白内障、トラコーマ、オンコセルカ症（河川失明症）などの予防可能な失明を抑制、または撲滅するよう支援する一方で、幼児期失明、糖尿病性網膜症、未矯正屈折障害などの視力に対する脅威とも闘ってきた。更には失明している人々や弱視の人々のための教育やリハビリを支援し、また重要な公衆衛生の研究を支援することで視力への脅威に対処する活動にも新たに取り組み始めている。今回はその一つ、弱視への取り組みを紹介しよう。

　アメリカ・カンザス州は、ほとんどが農村地域であり、目の検査が必要な場合、多くの児童は遠くまで足を運ばなければならない。また、たとえ都市部やその近郊に住んでいたとしても、小児眼科の費用を支払えない可能性もある。ここで登場するのが、ライオンズである。

カンザスの児童の弱視イニシアチブの一環として、色覚の検査を実施するクリュッグ医師

　州全体で実施している児童のための弱視プログラムは、カンザス・ライオンズ視力財団、カンザス州立盲学校、カンザス・オプトメトリック協会などの協力により実施されている。今回、同プログラムは視力ファースト交付金を受け、400人以上の児童を支援、更に来年までに1400人の主要な地域の関係者を対象に弱視についての教育を行うことになっている。

「カンザスのライオンズが、アメリカで初めて視力ファースト弱視交付金を受けることは名誉なことであり、大変うれしく思います。私たちは何年も積極的に視力検査を実施してきました。このプロジェクトによって、私たちは活動の関わり方の新たな段階に進むことになります」

と、ビバリー・ニコルズは話す。

　7万1千ドルの交付金によって地域の診療所10棟に機材を備え付け、移動式の検査プログラムを稼働させることで、カンザスの農村地域の児童に手を差し伸べることが出来るようになった。またトレーニングや教育を始めることも可能となり、弱視用の装置を貸し出す図書館を開設することで、カンザスの学生や学校が恩恵を受ける。

　プログラムに参加している検眼医の一人ケンダル・クリュッグ医師は語る。

「最近のLCIFからの視力ファースト交付金は直ちに、カンザス中の視覚障害を持った学生たちの役に立つことでしょう。農村地域に住民が点在している州で、時代遅れの集中型の取り組みは効果的ではありませんでした。カンザスのライオンズや視力ファーストのおかげで、私たちはこの重要なプログラムを継続することが出来ます」

CLUB REPORT

クラブ・リポート

●当欄はライオンズ、レオ、ライオネスの活動報告を扱います。投稿要領は54ページ参照

兵庫県・神戸南ライオンズクラブ

路上生活者への炊き出し配食

阪神・淡路大震災で打撃を受けながらも日本有数の都市として復興した町、神戸。その復興記念事業として作られたみなとのもり公園横にある小野浜公園球技場脇にカレーのいい匂いが漂っていた。炎天下にも関わらず、多くの人が長蛇の列を作っている。神戸市中央区付近のホームレスの人たちだ。配られたスプーンを片手に、カレーが手渡されるのを今か今かと待っている。

この炊き出しを支援しているのが神戸南ライオンズクラブ(外浦記代美会長/14人)だ。ライオンズのメンバーは米の援助をすると共に、毎月第4木曜日に配食の手伝いもしている。カレーを作っているのはカトリック教会が中心となって活動している神戸市のボランティア団体、CTVネットだ。

取材に行った8月23日はまだ夏休みの時期ということもあって、近くにある六甲高校の生徒が手伝いに来ていた。彼らは元気よく声を掛け、カレーを渡していく。この日はカンパンの差し入れがあったため、ビニール袋に入れて手渡すのも高校生の役目。配食をしているテントの周りにはカンパン入りのビニール袋を提げ、カレーを食べている人が増える。この炊き出しにはホームレスの人だけでなく、以前この炊き出しを受けていた人が当時の仲間に会うために来ることもあるという。このように誰もが参加出来る炊き出しだが、飲酒は禁止。普段はお酒を飲んでいる人も、この日は控えてやって来る。また、トラブルを防止するため、どれだけ余っていても2杯目は禁止だ。食べ終わったら自ら洗った食器を返却場所に戻し、元来た場所へ帰って行く。

神戸南ライオンズクラブがこの活動に参加し始めたのはおよそ8年前のことだった。CTVネットが炊き出しを始めたのは阪神・淡路大震災の直後のこと

で、当時は被災者向けのものだったという。復興が進み、徐々に人が減っていったが、ホームレスの人たちは依然としてこの炊き出しを必要としていたため、現在の形に変化していったという経緯がある。

あれから年月が経ち、ホームレスの人を取り巻く状況も少しずつ改善され、人数も減ってきた。それでもこの日はわずか15分で１２０人あまりが訪れるなど、まだまだ必要とされているアクティビティである。とはいえ、ＣＴＶネットも、神戸南ライオンズクラブも、労を惜しむわけではないが、もっと人数が少なくなることを願っている。

（取材／井原一樹）

富山県・高岡志貴野ライオンズクラブ

東日本大震災への「こころの支援」

8月22日から24日にかけての3日間、高岡志貴野ライオンズクラブ（室谷博久会長／58人）は福島県立聾学校の子どもたち9人を高岡市に招待した。

今回の支援を決めたのは今年の5月。昨年11月に寄贈したチューリップの球根の経過を視察した時だった。そこで「子どもが外で遊べない」という話を聞いたのだ。福島県では放射能の除染作業が行われており、学校など子どもが集まる場所は優先されている。だが、山など人が住んでいない場所の除染は進んでおらず、子どもが外で遊ぶには不安が多い。また、震災で心に傷を負った子どもも多く「こころの支援」が必要とされていることも知った。

「何とかしたい」。そう思ったメンバーの行動は早かった。クラブでは毎日のように夜遅くまでミーティングを繰り返し、打ち合わせのため、福島県を6回訪問したメンバーもいる。福島県側のパイプ役を務めた郡山南ライオンズクラブ（舞木進会長／18人）とも連携を深めてこの日に備えた。

そして8月22日、福島県立聾学校の子どもたちが先生と保護者と共に到着した。翌23日は立山室堂散策や高岡市の高岡聴覚総合支援学校との交流会を楽しんだ。夜のバーベキューで子どもたちの目を引いたのは平均20キロという巨大な黒部スイカ。子どもたちは普段目にするものよりもはるかに大きなスイカに目を輝かせ、交代で持つなど大盛り上がりだった。キャンプファイヤーではメンバーが山の神に扮するなど演出もばっちり。用意されたスクリーンには早速昼の立山室堂散策の写真が映し出され、子どもたちは一日を振り返りながら見入っていた。

24日は富山県ライオンズの森公園で

ケヤキなどの植樹をした。このライオンズの森公園は県内のクラブが合同で造営したものだ。毎年6月と9月には県内のライオンズで草取りと清掃をする。これによって県内クラブ同士の交流にもつながっている。

子どもたちはヘルメットに軍手をつけ、先生や保護者に付き添われて、福島県の木であるケヤキを植樹した。最初は植樹という初めての体験に戸惑っていた子どもたちだが、植えた木を見ると皆満足げな表情に変わる。

その後、高岡志貴野ライオンズクラブからチューリップの球根1千個が福島県立聾学校に、300人分の炊き出しが一度に出来る鍋が郡山南ライオンズクラブに寄贈され、和やかな雰囲気で解散となった。

（取材／井原一樹）

長野県・上田ライオンズクラブ

東日本大震災復興支援

東日本大震災以降、上田ライオンズクラブ（長谷川正幸会長／23人）は震災の復旧・復興支援を検討するも、なかなか実現出来ずにいた。そんな時、宮下満栄334-E地区ガバナー（当時）の下、宮城県石巻市への復興支援プロジェクトが立ち上がり、クラブとしてこれに積極的に参加、協力することを決めた。石巻市は津波に襲われた自治体の中で最も多くの方が犠牲となった地域である。現地を訪れると、その現場は想像を超えた悲惨なものだった。当クラブでは2度の現地支援に同行、義援金8万6千円と米100キロを拠出した。

1回目の支援は昨年の10月15～16日。渡波黄金浜地区での炊き出しだ。その日は衣類、米、リンゴ、おにぎりを配布し、ジンギスカン500人分を会場で作り、生ビール、ホットコーヒー、ポップコーンも提供した。2回目の支援は今年の4月7～8日、大森仮設団地で行い、米計3トン、長野県産ふじ2千玉を配った。多くの被災者が集まり、交流や触れ合いの場となっていた。

これら2度の支援活動と被災地の視察は、いずれも阿部浩ゾーン・チェアパーソン（当時／石巻中央ライオンズクラブ）に手配頂き実現出来たものだ。また、阿部はLCIF交付金で建てられた石巻中央ライオンズクラブ事務局を拠点に地域の被災世帯500軒の支援を継続するとおっしゃっており、胸が熱くなった。当クラブも息の長い支援を続けていくつもりだ。

最後に、現地で見つけた、絆を大切にして生きることの尊さ、ありがたさを感じたメッセージを紹介する。

「3・11の地震と津波はこの町を破壊し、奪い去りました。全てを失っても前進します。前へ進むんです。津波なんかに負けません。頭を上げ胸を張れ」

（2011年度幹事／西沢逸郎）

岐阜県・瑞浪ライオンズクラブ

九州北部豪雨災害支援

イラスト／篠田和夫

7月11日から14日にかけて九州北部地区を襲った豪雨で大変多くの方々が被害に遭われました。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

瑞浪ライオンズクラブ（中根新二会長／50人）では支援として被災地にフェイスタオル450枚を送りました。瑞浪市も40年前、豪雨の被害に遭った経験があるため、支援は当然のことでした。

ちょうど40年前の7月14日、瑞浪市陶町では集中豪雨により4人の尊い命が奪われ、地域全体が孤立しました。私たちの年代が地元消防団に入団した年のことで、真夜中の豪雨の中、消防団は一本のロープを頼りに現場に向かいました。堤防が決壊しブロック塀が発泡スチロールのようにプカプカと流れて行くのを見てゾッとしたのを覚えています。消防団長も各家庭に避難指示を伝える途中で土砂に巻き込まれ被災しました。私たちの町では、この災害を忘れないためにも毎年7月14日には関係者で慰霊祭をやっています。また、ここ数年は町民による防災訓練や、専門家による防災講演会も開催し、いつ起こるか分からない災害を最小限に留めようと努力しています。

そんな中、起きたのがこの度の九州北部豪雨でした。7月23日には334-B地区キャビネットから、支援物資としてタオル、マスクの協力要請がありました。急を要する状況だったこともあり、メンバーからの募集は間に合わないと判断、フェイスタオル450枚を発注しました。翌24日、届いたタオルを荷作りし、その日のうちに阿蘇市災害ボランティアセンターへ発送した次第です。

現在も被災地では復旧と復興に向けての毎日だと思いますが、一日も早い回復をお祈りしています。

（幹事／加藤公一）

富山県・高岡フラワー ライオンズクラブ

救命救急講習会に参加

　高岡フラワー ライオンズクラブ（岡本寛治会長／会員45人）は5月26日、高岡市消防署で通算5回目となる救急救命講習を受講した。当日の参加者は普及指導員を加えて17人。元高岡市消防長であるライオン小川利昭の働きで行っている。会員全員がAED（自動体外式除細動器）の操作方法を習得して、緊急時に冷静な判断で対応処置が果たせるようにするのが目的だ。

　消防署員から身近に起きやすい急性心筋梗塞や脳卒中の発作状態の説明を受けた後、参加者全員がダミー人形を使い、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方について実技を行った。

　初受講のメンバーはインストラクターの指導を真剣に受けながら手順を追っていた。一方、毎年参加しているメンバーは手際よくAEDを操作していたが、どの参加者からもこの機会にしっかりと救命法を身に付けておきたいという意欲が強く感じられた。

　救急車が到着するまでの間、人工呼吸よりも胸骨圧迫の動作を中断せずに持続させる方が望ましいことや、AEDがどんな場所や施設に設置されているのか日頃から気を付けておかなければならない、など勉強になることも多かった。また、自分の家族が危険な状態にあると想定すると、より真剣味が増し、講習の効果が一層得られた。

　講習の後は高岡消防署が誇る高機能消防司令センターを見学した。ビデオを視聴した後、最新鋭のIT機器が配備された指令センター内に向かうと、係員がモニターを監視しており、高岡市民の安全、安心がこうやって守られているのだと実感した。当クラブ会員もその一翼を担うべく、講習会で学んだことを生かしていこうと決意を強くした講習会だった。

（保健社会福祉委員長／堀壽夫）

長崎東ライオンズクラブ

ふれあい農園で田植えと餅つき

　長崎東ライオンズクラブ（牟田茂保会長／73人）はクラブの「ふれあい農園」で米作りをしている。

　この「ふれあい農園」は、メンバー同士の交流を深めながらクラブの活性化を図ることを目的としており、メンバーの水田を借りて2006年に開園したものだ。農園で収穫したもち米は、これまで幼稚園などの施設に寄贈したり、即売会で売り、その収益をクラブの活動資金に充てたりしてきた。

　7年目になる今年は田植えと併せて、昨年収穫したもち米を使った餅つきをすることにした。実施した6月16日はあいにくの雨だったが、田植えを心待ちにしていたメンバーは子どもや孫を連れて朝から田んぼに集まっていた。

　作業は田植え組と餅つき組に分かれて行い、田植え組は雨具姿で田んぼに入った。苗を片手に持ち、田植え綱に沿って丁寧に植えていく。始めたばかりの頃はぎこちなかったメンバーの手つきも、回を重ねた今では慣れたものだ。手は忙しくても、口は空いているので冗談が飛び交う。にぎやかなうちに4アールの水田を2時間程で植え終えることが出来た。

　一方、餅つき組は臼と杵を使って餅つきをする計画だったが、雨のため室内に変更、餅つき機を使っての実施となった。もち米を蒸し釜でふかし、機械にかける。つき上がった餅に皆であんこを入れて完成させた。

　かつて農村では田植えが終わった後「さぶなり（早苗饗）」と言って、ごちそうを作って労をねぎらい、豊作祈願のお祝いをしたものだ。それにあやかって、午後は地元の公民館で「さぶなり」を行った。各自が持ち寄った手弁当や、ライオン・レディーの田舎料理に舌鼓を打ちながら、楽しい一日を過ごした。

（元国際理事／大久保彦）

島根県・鹿島島根ライオンズクラブ

「みつろうくん」島根盲学校の奇跡

5月11日、鹿島島根ライオンズクラブ（余村尚之会長／25人）は松江ライオンズクラブ（安達盛二会長／79人）と合同で「みつろうくん」2本と付属インク2組を島根県立盲学校に贈呈した。

「みつろうくん」は、紙に押し付けるとろうが溶け出し、固まるペンだ。書いた線を指でなぞれるため、目の見えない子どもでもお絵描きが楽しめる。

贈呈式では松江ライオンズクラブ足立守会長（当時）があいさつ、生徒代表の2人に「みつろうくん」が手渡された。

記念撮影の後、体験会が始まる。最初は力の加減が分からず戸惑っていた子どもたちも慣れてくると集中して恐竜や花の絵をどんどん描いていく。また、千葉盲学校からお借りした作品29点を手で触って鑑賞する子もいた。

高等部の女子は「母の日にプレゼントするお花の絵を描きました」と語ってくれ、最年長の男子は「絵を描いたのは、小学校の4年生以来。線を引いてクレヨンで色を塗るのは本当に楽しかった」と感想を述べてくれた。

「みつろうくん」について千葉盲学校の田中前校長はこうおっしゃった。

「絵を描いて色を塗ると集中することを覚える。人から絵が褒められる体験から、友達の絵を褒めることを覚える。『みつろうくん』は、視覚障害のある子に描く喜び、自信、他の人への思いやり、協調性などを与えてくれる」

今後も「みつろうくん」からすばらしい作品が生まれることを願い、いつか、全国版の「みつろうくん作品展」が開催されるように祈っている。

最後に、このアクティビティに関わってくださった皆様に深い感謝を申し上げる。（奉仕委員長／田中みゆき）

※ライオン誌2010年12月号に関連記事があります。この記事はウェブマガジンでも配信中です。

大阪府・堺仁徳ライオンズクラブ

さかいホタルプロジェクト

堺仁徳ライオンズクラブ（米田隆司会長／28人）は50周年を迎える。それに向けて、堺市内ではほぼ絶滅したホタルを再生する「さかいホタルプロジェクト」を2年前から立ち上げている。ホタルの生態を大学講師から学び、堺市公園協会の協力を得て水源・水質の確保や幼虫の餌となるカワニナの養殖などを行うプロジェクトだ。6月2日～10日の9日間には「さかいホタル観賞会」を堺市都市緑化センター・里山の庭（仁徳陵周辺）で開催した。

4月にホタルを確認していたものの、初めてのことでもあり、どれくらい飛ぶのかが未知数。新聞紙上で告知していたこともあり、飛ばなかったら多くの人をがっかりさせてしまう。不安たっぷりの状況だった。しかし当日、その心配が杞憂に終わり、ホタルが飛んだ時の喜びは言葉に言い表すことが出来ないものだった。観賞会では日々200匹程度のホタルが飛翔し、堺市民が毎日約千人、延べ9千人が鑑賞に訪れるビッグイベントとなった。来場した方々からは「初めて見て感動的だった」「これからも継続してやってほしい」「こんな都会にホタルがいるなんて信じられない」と絶賛して頂き、苦労を共にしたメンバーたちで喜びを分かち合った。

堺市長、観光部長も観賞に訪れ、「堺市の絶滅種のホタルをよく再生してくれた」と喜びの声をあげられた。

今後は堺の名物として、観光活性化や市民の憩いの場として大いに役立つことを期待している。

また、この奉仕が、年齢差のあるメンバー間の交流の活性化、会員増強のための分かりやすい材料となったことや、ライオンズクラブの大きなPRにつながったことも喜ばしい限りである。（PR委員長／佐藤徹）

青森県・鰺ケ沢ライオンズクラブ

避難道路に目印の植樹

5月28日、鰺ケ沢ライオンズクラブ（27人）はクラブ結成40周年の記念アクティビティとして、町立鰺ケ沢中学校敷地内に桜10本、黒松300本を同校1年生と共に植栽した。昨年の東日本大震災以降、同校山手の高台には津波の避難場所が設けられた。避難時に生徒が使用する避難道路に桜と黒松を並べて植えることで、万一の際に安全な場所へ誘導する目印の役割を持たせた。

元々このアクティビティは、シベリアおろしが強く、グラウンドが使えない日が多い同校のために40周年記念アクティビティとして3年前から段階的に行ってきたものだった。だが、結果として東日本大震災を教訓としたものとなり、前年度の国際会長テーマにも沿ったアクティビティとなった。

今年の鰺ケ沢ライオンズクラブ結成40周年記念アクティビティとして3年前に植栽を決定。地元の子どもたちが勉学やスポーツに励み、いつでもグラウンドが使用出来るような環境整備を行うことを決め、5年間で段階的に防風林を整備することとなった。初年度はアジサイ200本、昨年はグミの木240本を植栽、今年の桜10本、黒松300本と合わせて750本の植栽を達成した。桜、黒松と樹種を大きく育つものにしたのは、避難道路が雪に埋もれる冬場でもすぐに分かるためである。

当日はクラブ・メンバーと同校1年生98人が参加。この中にはメンバーの孫も数人いた。アクティビティ委員長の号令の下、作業を進め、中学生たちも熱心に手伝ってくれた。

植栽に参加した中学生も「私たちの学校環境のことを考えて頂き、本当に感謝しています。苦労して植えた木を大切に大きく育てて後輩に引き継いでいきたいです」と礼を述べてくれた。

（会長／清野一彦）

山口ライオンズクラブ

全国植樹祭に参加

山口ライオンズクラブ（田中章会長／62人）は5月24日、山口県阿知須きらら浜で開かれた第63回全国植樹祭に参加し、植樹の労力奉仕を行った。全国植樹祭は1950年から毎年春に行われており、年によって開催地が変わる。開催地となった自治体と国土緑化機構が共同主催するもので、天皇皇后両陛下をお迎えし、全国からも多数の参加者が訪れることで知られている。

山口ライオンズクラブでは地域社会奉仕、教育、環境保全などを行う第一事業委員会と、保健奉仕、国際奉仕、福祉奉仕などを行う第二事業委員会の二つの事業委員会を設けている。更にその下にはアクティビティに応じて委員会があり、分担して運営している。しかし、環境のアクティビティを実施する機会は少なく、環境保全委員会は他の委員会と清掃奉仕活動を行っていた。

前年度のウィンクン・タム国際会長は「全世界で百万本の植樹」という目標を掲げていた。このため、336・D地区においても一人一本の植樹を目標とし、我がクラブでも環境保全の一端として植樹に取り組むことにした。しかし、いざ植樹となると場所の選定やその後の管理上の問題があり、森林が豊富なここ山口市に植える場所が見つからなかった。そんな折、全国植樹祭が山口阿知須きらら浜で開かれることを知り、参加することを決めたのである。準備は山口県の方でされていたことでもあり、労力奉仕だけの事業となったが、一人一本の植樹をし、微力ながら昨年度の国際会長テーマに沿った活動が出来た。今回は苗木を植えただけだが、植えた木を見守っていこうと思う。そして今度は自分たちが企画する側に回ってこのすばらしい活動を継続していこうと決意を新たにしたアクティビティだった。

（前会長／藤本悦児）

千葉県・印西ライオンズクラブ

タイ国王立学校にラグビーボールを寄贈

印西ライオンズクラブ（17人）は8月8日、チャーター・ナイト30周年を記念して、タイ国バンコクにある王立学校（バジラブット・カレッジ）の中学生に、日本から持って行ったラグビーボール30個を贈呈した。

このアクティビティを行うきっかけは、昨年8月に我がクラブに入会したL中澤俊介である。彼は学生時代にラグビーをやっており、そのラグビーの経験を元に印西市ラグビースクールで小学生・中学生にラグビーを教えている。今年4月26日～29日までタイ国王立学校の中学生がラグビー親善試合のため来日したが、この親善試合のアシスタントを務めたのがL中澤だった。千葉県我孫子市での親善試合終了後、引率されたアジア・ラグビー協会会長であるアジサック・ヘミューさんたちとの昼食会を開いた。その席上、今度は私たちがタイ国を訪問して懇親を深めたいと申し出たところ「ぜひおいでください」との温かいお言葉を頂き、今回の訪問となった。

我がクラブでは毎年ライオンズの年度末に有志で親睦旅行をするのが慣例になっており、今回はそれも兼ねてタイ国、王立学校を訪問した。贈呈式は王立学校の校庭で行われ、印西ライオンズクラブ川村和伸会長が王立学校の校長のサロージ・リーサバンさんにラグビーボール30個を寄贈した。サロージ・リーサバン校長からは「日本とタイの間にますますの友好が築かれますように」とのお言葉を頂き、今後日本とタイの子どもたちが1年おき位に訪問し合えたら、という話が出るなど、和気あいあいの内に贈呈式は終わった。最後に、来日した子どもたちと一緒にグラウンドで記念撮影をした。暑い国で熱い友情を築けた訪問だった。

（前会長／海老原学）

栃木都ライオンズクラブライオネス支部

交通安全を願い続けて33年 反射ステッカーを寄贈

栃木都ライオネス支部（12人）はライオネスクラブとして25年の活動を経た後、栃木都ライオンズクラブ（松本喜一会長／21人）の支部となって8年となる。この33年間、一貫して「和をもって尊しとなす」の精神で活動してきた。チャーター・メンバーも2人在籍しており、メンバーそれぞれが社会で活躍しつつ、ライオンズの活動を続けている。

栃木都ライオネス支部の代表的なアクティビティは、栃木市内の小学校2年生全員に交通安全ステッカーを贈るものだ。ステッカーはランドセルなどに貼ると、車やオートバイのライトを跳ね返す反射材となって子どもたちを事故から守ってくれる。今年は地域の交通安全に貢献したとのことで鈴木俊美市長から感謝状を頂いた。

このアクティビティは栃木都ライオネスクラブとして結成した次の年から実施しており、この33年間でおよそ4万人の子どもたちにステッカーを届けている。33年目となる今年度は１２６０枚を贈呈した。下校途中の子どもたちのランドセルに貼られたステッカーを目にする度、どの子も無事に帰れるようにと願っている。

２０１０年から２０１１年にかけて1市4町の合併を経て新しく生まれ変わった栃木市。時代の流れは少子化であるが、市が大きくなったため、配布数は旧栃木市時代より増えた。それに対し支部メンバーは10人程度であるため、今後の不安もある。しかし、微力ながらも地域の子どもたちの安全に貢献出来るアクティビティだ。今後も栃木都ライオンズクラブに協力を仰ぎつつ、長く続けていこうと思う。33年前から子どもたちの安全を願い続けた先輩方の思いを今後も継承すべく、努力を重ねていく。

（ライオネス支部会長／坂本幸子）

兵庫県・西宮戎ライオンズクラブ

西宮8ライオンズクラブの合同被災地支援

西宮8ライオンズクラブ（西宮、西宮さくら、西宮甲子園、西宮戎、西宮甲山、西宮ホワイト、西宮マイスター、西宮パール）は西宮市と合同で「西宮市オリジナル植物による被災地復興支援事業」を企画、実践している。

花と緑による心の支援を目的に、植物バイオテクノロジーを利用して開発された西宮市オリジナルの植物を宮城県南三陸町と女川町に送る計画だ。西宮市民にも募金をお願いし、被災地の復興に合わせて5年間行う事業である。

5月31日、この事業の一環として西宮オリジナルフラワー「ゆめむらさき」のプランター100基とチョコレートを、西宮8ライオンズクラブの代表13人が南三陸町と女川町に届けた。「ゆめむらさき」は阪神大震災の年に生まれたオリジナル植物で、復興の願いを込めて名付けられた。届けたプランターは2月末に市民ボランティアの皆様と一緒に復興への願いを込めたメッセージカードを添えて作成したものだ。

そして、その花が咲きかけた5月30日、西宮市を出発したメンバーたちは31日午前に南三陸町ベイサイドアリーナ前で南三陸志津川ライオンズクラブのメンバーら出席者に「ゆめむらさき」のプランター50基とチョコレートを贈呈。午後には女川町針浜仮設住宅にて町長や女川ライオンズクラブの加藤忠雄会長と仮設住宅の皆様にも贈呈した。その後、多くの犠牲者を出した南三陸防災対策庁舎と石巻市大川小学校前で黙祷を捧げ、支援の気持ちをより強く持った。

西宮市と市民の皆様の支援を頂き、今後も両町の町づくりに合わせて「西宮権現平桜」と「夙川舞桜」の植樹などを計画している。西宮8ライオンズクラブの継続アクティビティとして、5年間、支援を続けていく。（前年度ゾーン・チェアパーソン／横山嘉夫）

栃木県・宇都宮おおるりライオンズクラブ

作新おおるりレオクラブ結成

6月20日、作新学院高等学校一の沢キャンパス聴蛙館で作新おおるりレオクラブの結成式が行われた。この作新おおるりレオクラブは作新学院中等部の生徒37人によるもので、宇都宮おおるりライオンズクラブ（山本正人会長／45人）がスポンサークラブとなって結成された。

結成式には星宏信地区ガバナー（当時）を始め、作新学院の船田元理事長など関係者が多数出席し、宇都宮おおるりライオンズクラブの鹿野順子会長（当時）がスポンサークラブとしてお祝いのあいさつをした。

青少年の指導育成は重要なアクティビティの一つである。2011年度、333複合地区では会員増強とレオクラブ結成に力を入れることになり、昨年7月の新役員レオ勉強会では、各地区一つ以上のクラブ結成を、という方針が打ち出されていた。また、宇都宮おおるりライオンズクラブのスポンサークラブである宇都宮ライオンズクラブが1969年に本州最初のレオクラブとして宇都宮レオクラブを誕生させた歴史もあり、当クラブではレオクラブの結成に取り組むことにした。勉強会で地区の育成会や、学校などに働き掛けることが効果的だと学んだため、作新学院と話を進めることにした。船田理事長は宇都宮西ライオンズクラブのメンバーでもあり、相談に快く賛同して頂けた。その後、12月頃から定期的に説明会を行い、関係者の理解を深めて結成に至った。

作新学院には福祉部があり、校外清掃奉仕活動やエコキャップの収集、東日本大震災の義援金募金活動など、既に多くの活動をしている。今後はその経験を生かし、協同でアクティビティが出来れば、と思っている。

次代を担う作新おおるりレオクラブの活躍を期待している。

（YCE・レオ・支部委員長／森田陽子）

ライオンズクラブ国際協会332-C地区（宮城県エリア）

復興ギフト

東日本大震災から、もう一年以上が経過している今でも
復興はなかなか進まない。そんな中復興を目指し、
日々前を向いて生活しています。
今回、ライオンズクラブとして復興を目指し、「復興ギフト」として
被災地の名産品を販売し経済の活性化を図ります。
収益金の一部は復興のための活動に使わせて頂きます。

332-C地区（宮城県エリア）被災地特産品 詰め合せ復興ギフト 5,250円

被災地特産品の詰め合わせに
子ども達の東日本大震災DVDか
気仙沼産とろろ昆布が付きます。

復興ギフト気仙沼A

ふかひれスープ広東風	×3	うま造り1ℓ	×1
ふかひれスープ四川風	×2	かつおふりかけ	×1
ふかひれスープ北京風	×2	しそちりめん	×1

復興ギフト気仙沼B

ふかひれスープ広東風	×2	のり佃煮	×1
ふかひれスープ四川風	×2	青のり佃煮	×1
ふかひれスープ北京風	×2	かつおふりかけ	×1
		しそちりめん	×1

復興ギフト気仙沼C

のり佃煮	×1	ふかひれスープ広東風	×2
青のり佃煮	×1	さんま生姜煮	×1
かつおふりかけ	×1	さば味噌煮	×1
しそちりめん	×1	ぶり大根	×1
		ぶり生姜煮	×1

復興ギフト塩竈A

仙台てぬぐい	×1
松島てぬぐい	×1
頑張るぞ！トートバック	×1
塩竈の藻塩セット	×1

＊地区ホームページ（http://332-c.com/gift/）で注文書をダウンロードして頂いた上、FAXでご注文ください。
お問合せ先：332-C地区キャビネット事務局　Tel 0224-398-3904　E-mail 332-c@lions-clubs.jp

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領→54ページ

被災地復興の願いを込めて石巻が舞台の映画を上映

麻生　紀雄（千葉東）

昨年3月11日に発生した未曽有の大震災では、多くの方が被災、犠牲となった。

復興支援には全国からたくさんのボランティアが被災地へ集まり、また募金活動が各地で行われた。

私もすぐに被災地となった千葉県旭市に行きボランティア活動をし、その後は千葉市議会議員として岩手県、宮城県へ義援金を届け、またボランティア活動を行った。

今なお34万人の方が避難生活を送り、そのうち11万人の方が仮設住宅で生活している。「震災を、避難生活をしている私たちを忘れずに応援してほしい……」そんな声を聞いた。

ライオンとして、被災地復興のために何かもっと出来ることはないか、被災された方々に勇気と希望を与えることは出来ないか……、ずっと考えていた。

そんな時に出会ったのが、映画「エクレール・お菓子放浪記」という作品だ。

本作品は震災前の石巻市を中心に東北地方で撮影され、孤児院を出た少年がお菓子と1曲の歌を心の支えに、太平洋戦争を挟み幾多の苦難を経て成長、音楽教師と再会する恩愛物語だ。大震災の惨状と見比べながら、戦争の悲惨さを改めて知ると同時に、人間の絆のすばらしさが伝わってくる感動作である。

作品に登場する映画館や多くの建物は地震や津波で崩壊、400人を超える市民エキストラからも痛ましい犠牲者が出た。昨年3月10日、東京大空襲の日に東京で完成披露試写会を行い、各地で封切られるはずであったが、震災のため東北での公開は中止、予定も立たなくなってしまった。

イラスト／小川和政

その後、外部関係者からの励ましと強い勧めがあって、6月頃から全国の幾つかの都市で上映されている。液状化被害で多くの方が被災された千葉市でも、東日本大震災復興支援事業として本作品の上映会を開催し、その収益金と多くの千葉市民の声を東北の被災地へ届けたいと思った。

初めに熊谷俊人千葉市長に行政で取り組むことを提案したところ、市長から「民間が中心となって行政がバックアップする、千葉市として前例のないこのような体制での事業の方が、本趣旨としては良いのではないか」との回答があった。

そこで、私が属する千葉東ライオンズクラブの嶋田建弘前会長へ本企画を提案。全員の快諾を得て、クラブ設立5周年事業として積極的にやってみようということになった。私は早速立ち上げた準備委員会で委員長に、そして千葉市上映委員会事務局長に指名された。

その後、千葉市内全てのライオンズに協力を仰ぎ、更に強力な体制を取るため実行委員会を作り、岡野正義元ガバナーに実行委員長をお願いした。また、岡野実行委員長のアドバイスで、高梨茂樹千葉市社会福祉協議会会長へ共催を要請し、快諾して頂

いた。その結果、千葉市民生委員児童委員協議会、千葉市赤十字奉仕団、千葉市保護司会連絡協議会、千葉市更正保護女性会連絡協議会などの協力を得ることが出来た。

そのような経緯で、2月18日に試写会を行い、3月17日の本番は、千葉市民会館で4回上映し、来場者4千人規模とする方針が決まった。前売りチケットは、ライオンズと社会福祉協議会がそれぞれ2千枚という目標を立てた。新聞各社・千葉テレビなどメディアへ後援を求め、各紙に本企画の記事を出して頂いた。結果、チケット販売はおおむね目標に到達した。

開催当日、千葉東ライオンズクラブが受付など全体を指揮し、また、各ライオンズクラブからも多数応援頂いた。大雨となり動員も懸念されたが、1、2回目はほぼ満員。熊谷市長にはあいさつを頂いた他、市長公式ツイッターでも上映会の様子をつぶやいてくれた。

また、本作品プロデューサーの鳥居明夫氏が宮城県から駆け付け舞台あいさつを行い、石巻の現状、作品にまつわるエピソードなどを話してくださった。映画を鑑賞した多くの千葉市民が涙し、各回の上映終了と同時に大きな拍手となった。

会場では人気ベーカリーショップ・マロンドが、この日のために復興支援限定エクレア3千個（1千箱）を販売。上映が終了するごとに販売予定数が一瞬で売り切れた。収益金の一部は寄付金となった。

更に会場内で募金活動を行い、たくさんの方が協力してくれた。退場の際のわずかな時間ではあったが、総額31万4875円に上った。

市民会館での映画上映会は設備的にも課題があり、我々運営側も初めてのことで不安もあったが、多くのボランティア及び組織に全面的に協力頂き、無事に開催することが出来た。

そして収益金の150万円は4月13日、岡野と共に、いまだ復旧していない路線を迂回（うかい）するなど片道4時間30分掛け石巻市を訪問。亀山紘市長に面会してお渡しした。この時の様子は翌日の河北新報・石巻日日新聞に掲載された。

この企画に対し、大変多くの皆様にご支援頂いたことに改めて感謝申し上げる。

吉永小百合さん 被災地の子どもたちと詩の朗読会

平嶋 敬義（宮城県・仙台青葉）

仙台青葉ライオンズクラブ（遊佐美由紀会長／31人）は認証50周年記念事業（実行委員長／鈴木榮一）として、記念式典に先立つ4月14日（土）、宮城県名取市民文化会館において「吉永小百合原爆詩朗読会」（担当／犬飼健郎前会長）を開催致しました。

当クラブの呼び掛けに、北海道で映画の撮影を終えたばかりの女優・吉永小百合さんは、「今だからこそ、被災した多くの方々とお会いしたい」と、快く応じてくださいました。

朗読会は第1部が合唱とピアノ・バイオリンの演奏、第2部が吉永さんによる原爆詩の朗読という2部構成としました。当日は仮設住宅にお住まいの子どもやお年寄りを中心に、1256人を無料招待致しました。被災した子どもたちに対する吉永さんの思いは特に強く、朗読の端々からあふれる慈愛豊かな表情に、満席の会場は熱気に包まれました。

また地元の子どもたちには、将来の夢についての作文をステージ上で発表してもらい、会場は和やかなものとなりました。ア

ンコールでは、子どもに手を引かれて登場した吉永さんが、会場の子どもたちと一緒に、童謡「折り鶴」を歌う一幕もありました。

参加された名取市美田園仮設住宅の自治会長高橋さんは、

「ライオンズさんには、震災後の早い時期から支援してもらっています。今日参加した人たちは、小学校の体育館で避難生活をしていた時から、あなた方のことを知っている者ばかりです。昨年は坂東玉三郎さん、高見山親方を始め、著名な方を連れて来てくれて、『一緒にがんばろう』と、勇気と希望を頂きました。そして今日は吉永小百合さんからの『皆さんのことは忘れてないよ』との温かい言葉に、子どもからお年寄りまで深く感動しています。ありがたいことです」

と、朗読会終了後に話されました。ご自身もご家族を亡くされた高橋自治会長のこの言葉は、会員一同を大いに励ますと共に、明日からの支援活動への大きな指針となるものでした。

今回、吉永小百合さんの原爆詩朗読会は、被災地の方々の「希望・感動」を呼び起こし、「生きる喜び」を感じて頂きたいという思いで開催しました。

参加者一人ひとりの家路に就く表情からも、開催して本当に良かったと思いました。そして、出演オファーをした際に吉永さんがおっしゃった「今だからこそ」の意味を痛感することとなりました。

彼女は、阪神淡路大震災のその後をよくご存知でした。被災地には一過性ではなく、息の長い復興支援が必要なのです。

地元のニーズをくみ取りながら、私たちの出来ることを模索し、全国のライオンと共に取り組んでいきたいと、決意を新たに致しました。

なお開催に当たり、名取ライオンズクラブ、名取つばさライオンズクラブ、名取市、宮城学院、JR東日本の皆様からのご協力を頂きました。心よりお礼申し上げます。

隠れたライオンズ・メンバー

秋本　利子（兵庫県・神戸シニア）

僕は秋本ココ。黒のポメラニアン、7歳の男の子です。

大阪府下で生まれました。既に兄弟犬が3匹先に生まれていて、ピーピーと泣いていました。僕はしんがりの4番目でした。先祖代々黒かったそうです。

ここのお母さんは有名なブリーダーさんだったので、生後40日近くなると、犬好きが次々と現れて品定めです。僕もヒョイとつまみ上げられて、「アッ、この子はイイね」と即決です。自分で言うのも変ですが、どの犬も子犬の時は可愛いけれど、中でも僕は特別に可愛かったそうですヨ？

育ての親は、これがまた犬のコレクターで、既に立派な先輩が12頭も、大きいの小さいのが家族の一員として暮らしていまし

た。小さい僕、その肩身の狭いこと、狭いこと。

新しいお母さんは僕を厳しくしつけました。座り方、歩き方、それはそれはうるさいこと。ショードッグに仕上げたいと考えたそうですが、僕にとっては迷惑千万でした。ここでの4年間は楽しくもあり、さまざまでしたが、子犬の時から人々と一緒に暮らしていく大事なことを覚え、行儀よくしつけられたのは僕にとって大変ためになりました。

でも良いことばかりではありません。悲しいことが起こってしまいました。お母さんが重い病気にかかり、僕たちの世話が出来なくなってしまったのです。僕は大阪府能勢にある、動物救援組織・アークへ預けられ、新しいオーナーを探すことになりました。

1カ月ほどして、新しいお母さんが現れました。

僕のことばかり申し上げましたが、新しいお母さんについてお伝えしましょうか。この人、何でもライオンズ・メンバーといって（僕は生きたライオンかとびっくり）、盲導犬育成の支援をしているそうで、キャンペーンといえば、1日中不在。そこで僕の小さい頭でライオンズクラブとは何?と考えました。

世界中でいちばん大きな、良識のある人たちの集う集団？　イヤ、人々に奉仕することを目的とした人の集団？　そして何日も考えて、そのどちらも兼ね備えたのが、ライオンズクラブだと考えつきました。

そこで僕は再度腕を組んで思い巡らせました。ではお母さんが安心して出掛けられるように徹底して留守番をし、立派なライオンＡＫＩＭＯＴＯになれるように支援したい。僕も隠れたライオンズ・メンバーのはしくれになろうと。でも皆様にコッソリとお教えしましょうか（ライオン・ピンが欲しいのです）。

僕はお仕事、お留守番をするのが大好きです。元気に喜んでクラブ活動をしているお母さんを見ているのが大好きです。

他のライオンの家族の皆様方も同じだと思います。お母さんはメンバーが少なくなると心配顔ですが、家族の方々が心強く応援すれば、お辞めになる方もいなくなるのではと、僕は小さな頭で思っております。ライオンズクラブには、まず入会です。入ってみてください。すばらしい世界が開けます。すてきなメンバーがお友達になりたがって待っています。乞うご期待。

ではライオンズ・メンバーの皆様、健康には気を付けてがんばって。

隠れライオン　秋本ココ

夢と希望

東都　宏（神奈川県・横浜中央）

「希望は人を成功に導く信仰である。希望がなければ何事も成就するものではない」

こう言ったのはヘレン・ケラー女史です。人生には夢と希望が必要だと思います。特に若い世代は大きな夢と希望を持つことが望ましいと思います。夢と希望は大きな杖であり、忍耐と努力はそれを支える旅装束で、人はこの二つで人生を渡ります。私どもが幼少の頃「少年よ大志を抱け」という有名な言葉に支えられて、行く末は大臣か大将かと夢だけは大きく持ったように記憶しています。

また年を重ねるに及んでも、

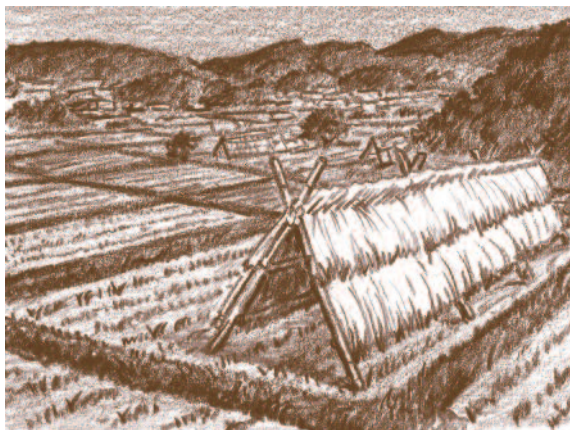
「人間は年を取るので老化するのではない。理想を捨てた時から老化は始まる」

と言ったマッカーサーの言葉に励まされ

てきました。夢や希望はあくまでも抱くものであり、それが成就されることは難しい。花は折りたし梢は高し。棒ほど願って針ほど叶うのが世の常であり、夢が達成されないからと言って悲観することは一切ないと思います。ただ出来るだけそれに近付きたいと忍耐し努力することが人に与えられた宿命ではないでしょうか。

　人には夢という高さがあるから、階段という忍耐と努力が必要となり、夢に向かって登っていく道やたくさんの矛盾という壁にぶち当たります。登りながら自己をも克服しなければなりません。

「誰でも機会に遭わない人はいない。ただそれを捉えられなかっただけだ」

　とカーネギーは言いました。

「全て物事には終わりがある。従って忍耐は成功を勝ち取る一つの杖である」

　というゴーリキーの言葉もあります。さまざまな困難と苦渋に耐え艱難を乗り切った時、人はそこに光明、例えようもない美しい灯を見いだすのではないでしょうか。それが人生の最大の喜びと感じる次第です。

　私はかつて医師という第1段階の希望が達せられた時、更に先に進むべき方向として、世のため人のため病める人々のために、ホームドクターとなり患者と直に接して尽くす、という道を選んで今日までたどり着きました。病める人に対応するには、その立場になって共に悩み苦しみ痛むことが、理想的な医師の取るべき道と心得ます。病の痛み苦しみを助ける、そして生を全うする時には死の苦しみや痛みを出来るだけ和らげる、他に迷惑を掛けないような別れをしたいという自己の願望の実現を、病の床にあっても可能な限り享受させたいと挑んで参りました。このような夢と希望を立てた過去を顧みると、果たしてそれが実現されたかと、老医師の反省を反芻する昨今です。

　生きるということは人それぞれにとって異なるものであり、目的も夢も希望も雑多でありましょう。しかし与えられた生命を燃焼し尽くすことが出来たら、たとえ夢が達成されなくてもそれは生きる意味を完全に理解したことになるのではないでしょうか。

　私はもうすぐ米寿に近い高齢ですが、頭と体が動く限り、社会や世間に見てもらうのではなく、少しでも社会や世間の役に立ちたいと考え、日本ライオンズが全国的に展開している薬物乱用防止の講師として小学校高学年と中学校低学年を対象に学校を回らせて頂いています。

「心には皺はない」というセヴィニエ女史の言葉があります。体中皺だらけになっても心には皺はありません。体はともかく心に鞭打ち、ささやかな夢と希望に燃えて薬物乱用防止というライオンズの奉仕活動に喜びを感じている次第です。

Close up

故郷を愛するアマチュア音楽家 日本とトルコの架け橋に

■向山精二
むかいやま・せいじ　1946（昭和21）年和歌山県海南市生まれ。LPガス製造販売とガス事業のキロステック㈱代表取締役。98年以来、故郷の自然などを描写した作詞・作曲を手掛け、自ら指揮もするアマチュア音楽家。これまでに大阪フィルハーモニー交響楽団、レニングラード国立オペラバレエ交響楽団などを指揮。「2010年トルコにおける日本年」にトルコとの友情を描いた「友情」を贈呈し、昨年トルコで4公演を行った。85年4月和歌山ライオンズクラブ入会。2002年度クラブ会長。

　初めて作詞・作曲をしたのは1998年ですから、54歳の時です。バブルが崩壊した後で、社会が何とも殺伐としていた頃でした。当時、仕事の関係で月に一度東京に通っていて、新幹線から日本晴れの富士山の姿を見た時にふっと、幼い頃に駆け回って遊んだ山や川、海の思い出と共に曲が浮かんできたんです。それから東京に着くまでの間にススーッと出来上がった。音楽は中学時代にブラスバンドでクラリネットを吹いていたという程度の経験でしたが、まあ音符は読めましたから。

　去年9月にトルコで演奏した「友情」は、「紀伊の国交響組曲」の第5楽章で、日本とトルコとの友情を深めた二つの救出劇がテーマです。1890年に和歌山県・串本沖で遭難したトルコ軍艦の乗組員を地元の漁師たちが救助した「エルトゥール号の奇跡」。そして、イラン・イラク戦争が始まった1985年、テヘラン空港を脱出する術がなくなり絶望的な状況の日本人を救ったトルコ航空機の脱出劇「九死に一生」。これらの曲を「2010年トルコにおける日本年」にトルコ共和国に贈呈し、イスタンブールとアンカラ、イズミール、そして串本の姉妹都市メルシンで演奏会が開かれました。

トプカプ宮殿内のアヤイリニ礼拝堂で開かれた東日本大震災復興支援チャリティー公演

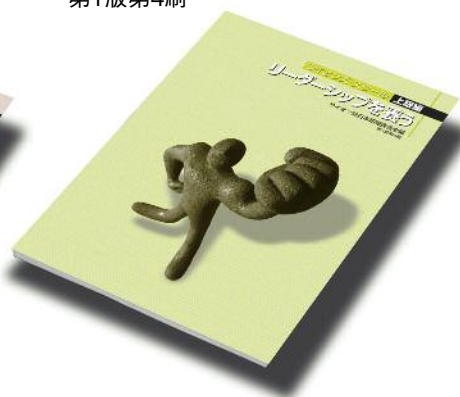
　私はアマチュアですから偉そうなことは言えませんが、やはり自分の曲は自分で指揮したい。最初はプロに振ってもらいましたが、どこか違います。あうんの呼吸というんでしょうか、「ここは静かに～」「ここは力を込めて～」と自分でやると伝わるんですね。特に力が入るのが、テヘラン脱出の飛行機が飛び立つ場面の描写です。私の楽曲は演奏に合わせて映像を流すので理解しやすいようで、客席で眠そうにしている人はまずいませんよ。

　2010年にトルコ日本年のプレイベントとして開かれたサントリーホールのコンサートでは、演奏後に控え室に飛び込んでこられた小泉純一郎元総理が涙ながらに「ブラボー！」とおっしゃって、びっくりしました。小泉さんは在任中にトルコを訪問した際、テヘランからの救出機のパイロットが健在だと知り、感謝の意を示そうと表彰されていたんです。このコンサートには、2008～10年の国際理事を務められたトルコのオライハイリ・ウルゲンも来てくださって、翌年、トプカプ宮殿内のアヤイリニ礼拝堂を舞台にしたイスタンブールの演奏会は、ウルゲン元国際理事を始めトルコ・ライオンズの全面的な協力で大成功となりました。これはまさに、ライオンであればこその醍醐味でしたね。

写真・構成／河村智子

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズスクール・シリーズ

初級編・ライオンズクラブ入門
第3版第3刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

中級編・クラブ運営の基礎知識
第3版第2刷

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

上級編・リーダーシップを養う
第1版第4刷

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

※ライオンズスクール・シリーズはいずれも50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引＝100～499部350円／500部以上300円

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。
※電子メールの場合は、地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記し、office@thelion.jp宛てにご注文ください。
※ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。下記のライオンズ文庫注文フォームからどうぞ。
https://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門…………□部
●クラブ運営の基礎知識…………□部
●リーダーシップを養う…………□部
●創刊55周年記念特別セット…………□セット
（『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌日本語版創刊号復刻版』の３冊入り）

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

沖縄県名護市　文／砂山幹博　写真／田中勝明

絶滅の危機から蘇り やんばるの自然で育つ琉球在来種

のびのび健康に育てられている黒琉豚アグー

絶滅の危機に瀕した在来種

沖縄県の在来豚をアグーという。粗い毛に覆われた黒い小型の豚で、眉間(みけん)には八の字にシワが寄り、白目は黄金色。四肢はがっしりとして太く、背中は凹形に湾曲し、腹部は地面まで届きそうなほど垂れている。まるでハイヒールを履いているような姿から「貴婦人」に例えられる白豚のランドレース種などに比べると、多少不格好に見える。それでも一部の沖縄の人にはこの黒い在来豚がどうにも愛らしく、しかもうまそうに映るらしい。

アグーの原種は1385年頃、航海の食材として船で飼育されていた豚で、中国から当時の琉球に持ち込まれたと伝えられている。一説には、黒糖の生産で知られる粟国(あぐに)島を経由して入って来たため、島の名から「アグー」と名付けられたとも言われる。

琉球王朝では宮廷料理のメーンディッシュが豚肉で、これが次第に庶民にも広がり、年中行事や慶事のごちそうとなった。以来、沖縄ではソーキ(骨付きあばら)やミミガー(耳)、テビチ(足)、チラガー(顔の皮)で知られるように、豚は「鳴き声以外」すべて食べ尽くされる食材になっている。当時は一家で2~3頭、多くて5~6頭を飼い、家庭で出た残飯やサツマイモとそのつるを、丁寧に火を通してから与えるなど大切に育て、愛情をもって肉にした。

1950年代までは沖縄にいた豚の約8割がアグーで、どこの農家でも見ることが出来た。ところがこの後、ショッキングな事実が発覚する。

1981年、名護博物館が沖縄県内の在来家畜の展示飼育を手掛けることになり、調査を行ったところ、宮古馬や与那国馬、琉球犬といった沖縄特有の在来家畜が全般的に減っていることが分かったのだ。特に在来豚アグーは壊滅的で、県内に残っていたのはわずか30頭であった。戦争を機に数が激減したこともあるが、品種改良によって生まれた生産効率の良い白豚が沖縄に入って来て、養豚農家が好んで白豚を飼育し始めたこともある。その結果、いつの間にかアグーは県内の豚舎から姿を消していたのだ。

この状況に危機感を覚えた名護博物館は種の保存を図ろうと県内をくまなく回り、残ったアグーをかき集めた。かろうじて残っていたアグーは、養豚農家が趣味で飼っていたものや、家族で食べるために飼育していたもの。飼い主に事情を説明して何とか名護博物館で18頭を確保した。ところが、種の保存に力を貸してほしいと行政機関に相談しても、ことごとく断られてしまう。この時、実務を担当した名護博物館館長(当時)の島袋正敏さんは次のように振り返る。

「もうからない豚はいらないというのが関係機関の言い分でした。豚肉の評価と価格は赤肉の比率で決まりますが、脂身が多いアグーは商品としての価値がない等級外の扱いでした。それに、一般的な白豚が7カ月で出荷出来るの

1

に対し、アグーの場合は1年を要します。生育日数が長い分、餌代もかさむとあって敬遠されたのです」

誰も相手にしない中、唯一名乗り出てくれたのが、商売の世界とは一線を画した県立北部農林高等学校だった。

アグー復活への道のり

名護市にある北部農林高校の熱帯農業科には、実習施設として家畜農場があり、畜産コースを選択した生徒はここで定期的に実習活動を行う。現在も、1年生は週に1度、2・3年生は週に2度農場に来て、丸一日かけて家畜の世話をする。今では当たり前のようにアグーの世話をしているが、1984年に学校がアグーを引き取ることになった時、当時の生徒にとっては気が引き締まる教材だったに違いない。

交配で頭数を増やす試みが始まったものの、学校に集まったアグーのほとんどが親子や兄弟、親戚と、血が近いもの同士であった。そのため近親交配による奇形や死産が増加。奇形個体は繁殖交配させられないので、泣く泣く潰した。原種同士で交配をするには個体数が少な過ぎたのだ。検討の結果、他の品種の豚を交配に使って一度血を薄くし、再びアグー原種とかけ合わせていく「戻し交配」という手法を取ることにした。生まれた子豚の中から雑種要素の強い個体を除き、原種に近いものだけを更にかけ合わせていった。この気が遠くなる作業を繰り返し、1995年にようやく原種に限りなく近い黒い豚が蘇った。

2000年には、北部農林高校を始め今帰仁村にある沖縄県畜産試験場などが連携し、琉球在来豚アグー保存会が発足。在来種保存に向けての取り組みはその後も継続され、現在、保存会だけで200頭、豚疫のリスクヘッジとして県内各方面へ分散しているものを合わせると数百頭近くまでアグーは回復している。

❶眉間（みけん）に深い八の字型のシワがあり、背は凹み、腹は地に着きそうなくらい垂れているのがアグーの外見的な特徴
❷夏休み中、交代で家畜農場へ通う北部農林高校熱帯農業科畜産コースの生徒たち
❸黒褐色の子豚は、北部農林高校が開発した「チャーグー」。沖縄で「いつも」を意味する「チャー」と、「GOOD」の「グー」が語源

アグーのこれから

絶滅の危機を乗り越えたアグーに、白豚の基準とは別の付加価値を与え、ブランド豚として流通させようとする動きがこのところ盛んだ。

㈲宮松建設では、自社で育成するアグーに琉球の黒豚という意味で「黒琉豚アグー」と名付け、直売店とネット通販によるアグー肉の販売を開始した。本業は建設業の同社であるが、もともと宮城辰雄社長と、兄の宮城優専務の実父は畜産業兼生肉店を営んでいた。弟と共に建設業に身を投じたものの、一度は家業を継いだ経験のある専務は、廃業にした後も個人的に豚を養うほどの豚好きであった。機会があれば知人

アグー復活の拠点となった名護市は、やんばる地域の中心的な街

に自分で育てた豚肉を振る舞っていたが、その味が抜群とあって、ますます畜産にのめり込んだ。そんな折に出会ったのが、まだ希少だったアグーである。社内に事業準備室を立ち上げ、本格的にアグーの育成を開始。少しずつアグーを集めては交配を繰り返し、10年かけて約１３０頭まで増やした。

特に専務がこだわったのはアグー種の血の濃さだ。沖縄県家畜改良協会によって、アグーの血は薄い順に1～7にグループ分けされ、それぞれアグーである証として登録証が与えられるが、同社が扱うのは4～7の等級。血の濃

黒琉豚アグーの肉は、豚肉は嫌いだが、この肉ならば食べられるという人もいるほどクセや臭みが少ない

郷土自慢・クラブ自慢

名護ライオンズクラブのクラブ自慢は、江戸時代を通して琉球で最も有名な人物の一人である政治家の程順則。

１６６３年に那覇の久米村で生まれ、66歳の時に、今で言う市長に当たる名護親方となった人物だ。幼い頃からの学問好きが高じて、５度も中国に渡り学問を深めている。ちなみに順則という名は中国名で、沖縄での名前は寵文といった。

１７０８年に順則が中国から琉球に持ち帰ったのが『六諭衍義』という書物。「親孝行をしなさい」「礼儀正しくしなさい」「助け合って生きなさい」といった、人が人として守らなければならない六つの教え（六諭）が分かりやすくまとめられたものだ。この本は薩摩藩を通して八代将軍徳川吉宗に献上された後、和訳され、当時、日本各地にあった寺子屋の教科書として広く普及した。

順則が名護を治めてからは、全く犯罪がなくなったという。名護間切番所（今で言う市役所）では、毎年旧暦の元旦に「御字拝み（ミジウガン）」といって、「六諭」の書を掲げて順則の遺徳をしのんだが、この儀式は現代にも引き継がれている。

▼名護ライオンズクラブ（崎浜秀一会長／41人）＝１９６１年10月24日結成／スポンサー：沖縄ライオンズクラブ

▼本島北部地区の小学生を対象としたバレーボール大会「名護ライオンズカップ」を年に1回開催する他、姉妹クラブである雪国、長岡柏ライオンズクラブ（新潟県）との間で児童交歓活動を13年間続けている。

さに比例して、純正アグーの特質はより肉質に反映される。アグーの肉は、うまみ成分が豊富で、コレステロールが少ないのが特徴。肉に臭みがなく、脂も甘くあっさりした上品な味わいである。

また、北部農林高校は、種の保存に注力する一方で、アグーに別の品種の豚をかけ合わせて生産性を上げる取り組みも進めてきた。２００３年には、多くの肉が取れる米国原産のデュロック種のメスとアグーのオスをかけ合わせた「チャーグー」を開発。アグーの肉質を受け継ぎながらも、肉量の多い上質のブランド豚として売り出し中だ。

希少種であるはずのアグーの肉だが、実は市場で1万頭を超える量が流通していると言われる。多くは、いくらかアグーの血が入った豚をアグーと呼び、ブランドにあやかっているケース。その是非はともかく、琉球時代から続く食文化を支えてきた在来豚の遺伝子資源は、保存会や高校、民間企業や各種団体の努力によってまずは守られた。そして、この血脈をどう生かしていくかは今後の課題だ。種が復活したはいいが、利用が拡大しなければ、かつてのように知らぬ間に豚舎から姿を消してしまいかねない。本当の意味でのアグー復活は、まさにこれからが正念場である。

読者から―8月号

■創設当時の情熱を

世界は政治、経済、エネルギー問題、自然の猛威など多くの苦難の渦中にあります。それらの苦難に立ち向かい乗り越えるために、今求められているのは奉仕の精神です。マデン国際会長の「国際会長メッセージ」から、同時代に生きる世界のライオンズはみな同じ思いで生きているということを感じます。95年前のライオンズ創設当時以上の情熱を、奉仕活動に注ぎ込むことこそ、今の時代に求められていることと信じます。

静岡県・裾野ライオンズクラブ●青木賢吾

■ハンブルク国際大会に向けて

私も国際大会に参加したため、その様子は分かっていますが、国際大会に参加するメンバーはまだまだ少数です。THEMEで大きく取り上げて頂くことで、今後多くのメンバーが参加するようになればいいと思います。国際大会の代議員数が掲載されていましたが、なるほど日本は少なく、来年のドイツ・ハンブルク国際大会が心配されます。当334‐B地区の山田実紘が国際第2副会長に立候補する大切な大会に向けて、代議員の増加を呼び掛ける記事を増やして頂きたいです。

三重県・四日市みなとライオンズクラブ●稲垣昭

■新国際会長に期待

釜山国際大会の記事で、インターナショナル・パレードの奇麗なカラー写真は自分がその場にいるような感じで拝見しました。私も過去5回、国際大会に参加しましたので、その時の記憶がよみがえりました。マデン新国際会長ファミリーのなんとも幸せそうな様子、娘夫婦と孫たちに囲まれてうらやましいくらいです。インディアナの小さな町から世界の表舞台に立った新会長に大いに期待します。

岡山県・灘崎ライオンズクラブ●福島勇

■世界規模の問題に挑む

「国際会長テーマ」で触れている通り、ゲイツ財団の申し出にLCIFが応え、はしかイニシアチブのパートナーシップを締結したことをうれしく思いました。ビル・ゲイツ氏は世界中で奉仕団体を支援した結果、「本当に支援が必要な人に届いているのか?」との疑問にぶつかり、自ら財団を設立して問題を解消しようとしているからです。世界は格差・不平等に満ちています。元教師のマデン新会長が掲げた、識字率向上を目指す「リーディング・アクション・プログラム」は、世界の不均衡を解決する力を秘めていると感じました。

宮城県・仙台青葉ライオンズクラブ●平嶋敬義

ライオン誌事務所来訪者芳名録

7/24 東京芝 土橋正富
8/8 東京 池崎道男
8/20 東京 守時光暉
8/22 宮城県・仙台青葉 平嶋敬義
8/24 岐阜県・瑞浪 五十嵐貞夫

ライオン誌例会のススメ

ライオン誌日本語版委員会はライオン誌の記事をクラブ例会に活用する「ライオン誌例会」を推奨しています。

10月号THEME I（4～13ページ）は「ライオンズクラブ統計」。昨年度の会員動静の他、入退会者の年齢層や例会の実施状況などを調査した全クラブ対象のアンケート結果を収録しています。自クラブの実態と比較して、今後のクラブ運営について考える機会を作ってはいかがでしょう。

ライオン誌例会のノウハウを収めた**「ライオン誌例会 開催ガイド」**は、ライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）「各種書式／ロゴ ダウンロード」のページでPDFファイルをダウンロード出来ます。本誌バックナンバーはEブック形式で公開しておりますのでご活用ください。

ライオン誌投稿要領

■クラブ・リポート 今月号30～39ページ：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。写真があれば添付。

■獅子吼 今月号41～45ページ：会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。

▼原稿は誌面の都合で編集したり、掲載出来なかったりする場合があります。原則として原稿の返却は致しません。返却希望の場合はその旨を明記してください。

▼アクティビティ写真は動きのあるものを。記念撮影のような写真は掲載に適しません。

▼電子メールでの写真投稿は長辺1,600ピクセル程度のJPEG最高画質で。

▼住所、氏名、クラブ名を明記。

送付先：〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
ライオン誌事務所
Fax：03-3546-2630
E-mail：edit@thelion.jp

『ライオン』誌バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

もう一度読みたい「あの記事」

●2005年7月号　こころのチキンスープ

「1日おじいちゃんまた来てネ」

　人の印象は初対面で決まる、など と言われます。ライオン杉山富春は、どちらかというと無口で、初対面の人にも誠実そうな方だな、という印象を与える人でした。何よりもおしゃれで、身に着けた物にも趣味の良さが感じられました。建設会社を経営され、とにかく忙しく日常を過ごされている方でした。横浜磯子ライオンズクラブに入会なさったのは、31年前のことで、15年前にはクラブの会長も務めました。

　そんなライオン杉山が、大の苦手にしていたのが子どもでした。「子どもはうるさい、大嫌い」と言うのです。子どもとなると、近所の子どもでも、親戚の子どもでも、「うるさいから、向こうへ行ってなさい」と、側へ寄せません。

　ところが、その子ども嫌いのライオン杉山にとって、何ともやっかいなアクティビティが計画されたのです。誠心学園の子を連れて、横浜ズーラシア動物園に行こう、という企画でした。誠心学園というのは、横浜の磯子区丸山にある児童養護施設で、2歳から小学校入学前までの子が暮らしています。何かの事情で親と一緒に暮らせない子どもたちでした。

「1日おじいちゃんで子どもたちと遊びましょうよ」

　何となく、気が乗らないような表情のライオン杉山でした。

　アクティビティの当日になりました。渋いレンガ色のブルゾンを着たライオン杉山は、やはりおしゃれなおじいちゃんで、目立ちました。

「さあみんな、おじいちゃんと手をつないで行こう！」

　ある会員が、ふと心配になってライオン杉山の方を見ました。5歳くらいの女の子が、ライオン杉山の所に走って行って、しっかりと足につかまっています。「うるさい、嫌い」というわけにはいきません。女の子はニコニコしています。

　この動物園では、他では見られない珍しい動物に出会えます。

「おじいちゃん、あれほら、ライオンさんだよ」

「あれはインド・ライオンって言うんだ。とっても珍しいんだよ」

　いつしか、女の子を肩車したり、抱き上げてやったり、ライオン杉山はすっかり好々爺を絵に描いたようになって、微笑んで話しているではありませんか。杉山おじいちゃんの膝に乗っかって、一緒にお昼を食べ、女の子は大喜びでした。ライオン杉山も今まで見たことのないような、とっても和やかな表情でした。でも、楽しい時間には、すぐに終わりがきます。

「バイバイ。おじいちゃん、また来てネ！」

「うん、また来るよ、必ずね」

　女の子の声が、いつまでたっても耳から離れません。アクティビティが終わって、ライオン杉山がしみじみと言いました。

「子どもって良いね。かわいいねえ。こんなかわいい子を捨てるなんて、母親の顔が見てみたい」

　ライオン杉山が胸部大動脈瘤で70年の生涯を閉じたのは、それから2カ月後のことでした。1日おじいちゃんの日が今年もやってきましたが、あの和やかな顔の、おしゃれなおじいちゃんの姿はもうありません。おじいちゃんの「必ず」は守られずに終わってしまいました。

　横浜磯子ライオンズクラブの追悼例会で、誰かが遺影に言いました。

「あの女の子、神さまがくださった最後のプレゼントだったのかなあ。ねえ、杉山さん」

（構成／青山研）

読者プレゼント

■「黒琉豚アグー」を読者10人に

「ふるさと探訪」(49ジ)取材にご協力頂いた沖縄県名護市、㈲宮松建設の「黒琉豚アグー」(2人前300グラム)を10人にプレゼントします。戦後激減し、ほとんど姿を消したことから「幻の豚」とも呼ばれるアグー。ストレスのない環境と徹底した品質管理の下で飼育される黒琉豚アグーは、琉球在来豚アグーとしてDNA鑑定の証明書を受けています。臭みが無く、脂身に甘味があり、あっさりしているのが特徴。コレステロールが少なく、ビタミン豊富というヘルシーさも魅力です。

琉球王国市場 http://www.okinawa-96buta.com

応募要領:プレゼントをご希望の方は、はがきに「アグー」と品名を明記して、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。ライオン誌ウェブマガジン(www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=0)からオンラインでの応募も出来ます。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は10月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

次号予告

THEME
リーディング・アクション・プログラム

マデン国際会長は、識字率向上と読書推進に寄与しようと呼び掛けている。開発途上国での教育支援がすぐに頭に浮かぶが、国内にはどのようなニーズがあるのだろうか。活動のヒントを探ってみる。

国際会長公式訪問

9月18日から23日に訪日されるマデン国際会長の公式訪問と、東日本大震災被災地視察の模様を取材。

ふるさと探訪 石川県金沢市

加賀百万石の城下町金沢には、藩政時代から受け継がれてきた特産野菜が数多く受け継がれている。加賀野菜ブランドに認定されているのは15品目。夏野菜の生産現場を訪ねた。

ライオン誌広告料金表

区分	種別/スペース	金額
表紙2	…4色/1ページ	………¥600,000
表紙3	…4色/1ページ	………¥500,000
表紙4	…4色/1ページ	………¥700,000
記事中	…4色/1ページ	………¥480,000
記事中	…1色/1ページ	………¥270,000
記事中	…4色/3分の1ページ	…¥160,000
記事中	…1色/3分の1ページ	…¥110,000
ハガキ	…1色/1葉	……………¥700,000

※年間契約:年3回以上の出稿を条件に5~25%の割引制度があります

※会員割引:ライオンズクラブ会員は10%の特別割引があります(年間契約との併用可)

問い合わせ先:ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1
築地細田ビル7階
電話:03-3542-9571
ファクス:03-3546-2630
Eメール:office@thelion.jp

築地通信

●今年7月から、ライオン誌バックナンバーのデータベースを作成しています。これが完成すれば、過去の記事に関する問い合わせがあった時や、必要な調べものをする際に容易に検索することが出来、とても便利になります。1958年創刊から現在までのバックナンバーを、職員6人で年代別に10年ずつ振り分けましたが、いざ始めてみると、なかなか進みません。何より、検索用のキーワードを考えるのにいちばん時間を要します。他の業務の合間に作業しているのですが、私は1年分を終わらせるのに1カ月掛かってしまいました。このペースでいくとゴールは1年後……。とても地道な作業ですが、いずれ活用出来るようになり、役立つことを期待しつつ取り組んでいます。(かめだ)

Official publication of Lions Clubs International

Published by authority of the Board of Directors in 20 languages – English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Icelandic, Greek, Norwegian, Turkish, Thai and Hindi.

EXECUTIVE OFFICERS
President Wayne A. Madden, PO Box 208, Auburn, Indiana 46706, USA; Immediate Past President Wing-Kun Tam, Unit 1901-2, 19/F, Far East Finance Centre, 16 Harcourt Road, Hong Kong, China; First Vice President Barry J. Palmer, PO Box 200, Berowra, NSW 2081, Australia; Second Vice President Joseph Preston, Dewey, Arizona, USA.

DIRECTORS
Second year directors
Joaquim Cardoso Borralho, Linda-a-Velha, Portugal; Marvin Chambers, Saskatchewan, Canada; Bob Corlew, Tennessee, United States; Claudette Cornet, Pau, France; Jagdish Gulati, Allahabad, India; Dave Hajny, Montana, United States; Tsugumichi Hata, Miyagi, Japan; Mark Hintzmann, Wisconsin, United States; Pongsak “PK” Kedsawadevong, Muang District, Thailand; Carolyn A. Messier, Connecticut, United States; Joe Al Picone, Texas, United States; Alan Theodore “Ted” Reiver, Delaware, United States; Brian E. Sheehan, Minnesota, United States; Junichi Takata, Toyama, Japan; Klaus Tang, Wied, Germany; Carlos A. Valencia, Miranda, Venezuela; Sunil Watawala, Negombo, Sri Lanka.

First year directors
Benedict Ancar, Bucharest, Romania; Jaime Garcia Cepeda, Bogotá, Colombia; Jui-Tai Chang, Multiple District 300 Taiwan; Kalle Elster, Tallinn, Estonia; Stephen Michael Glass, Bridgeport, West Virginia, USA; Judith Hankom, Hampton, Iowa, USA; John A. Harper, Cheyenne, Wyoming, USA; Sangeeta Jatia, Kolkata, West Bengal, India; Sheryl May Jensen, Rotorua, New Zealand; Stacey W. Jones, Miami Gardens, Florida, USA; Dr. Tae-Young Kim, Incheon, Korea; Donal W. Knipp, Auxvasse, Missouri, USA; Sunil Kumar R., Secunderabad, India; Leif Åke "Kenneth" Persson, Vellinge, Sweden; Dr. Ichiro Takehisa, Tokushima, Japan; Dr. H. Hauser Weiler, Kilmarnock, Virginia, USA; Harvey F. Whitley, Monroe, North Carolina, USA.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　秦　従道
国際理事　高田順一
国際理事　武久一郎
委員長　矢口武克（334複合地区）
編集長　小西宗仁（333複合地区）
委員　久津間康允（330複合地区）
委員　茂尾　実（331複合地区）
委員　中居雅博（332複合地区）
委員　団　英男（335複合地区）
委員　組嶽晶一（336複合地区）
委員　田崎登保（337複合地区）

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571（代）　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

編集室

ライオン誌
日本語版編集長
◉
小西宗仁
（千葉県・船橋）

創刊から数えて55年の歳月を重ねたライオン誌日本語版は、世界的にも高い評価を受けております。歴代の委員会はより内容豊かなものにしようと努力を重ね、近年では2006年4月号から誌面をオールカラー版に衣替えし、2008年1月号からはサイズをB5判からA4判へ変貌を遂げて今日に至っております。「生きることの喜びと明日への期待を語る刊行物であれ」との先達からの伝承を糧とし、新年度は矢口委員長を軸とする8人の委員で汗して参ります。一人でも多くのメンバーに本誌を読んで頂くことを願い、時には身近なテーマで、時には大局的な見地からの編集に心を配り、ライオンズクラブの専門誌として魅力ある誌面を目指します。

以下、本年度の編集長として方針をご提示申し上げます。

1　ウェイン・A・マデン国際会長のテーマ「奉仕の世界」の下、世界207カ国、130余万人の同胞と共に奉仕活動に邁進するライオンズの姿を伝え、会員の座右の書として活動の道標となるよう努める

2　時代のニーズにあった特集記事を企画する。特に次代を継承する若手、女性の心をつかむ企画や、日本ライオンズの有りようを熟考する企画に取り組む

3　GMTとGLTの活動の活性化を全面的に支援する

4　東日本大震災の被災地は厳しい状況の中にも復興への確かな歩みが続けられている。引き続き被災地のクラブを通じた情報収集に注力し、被災地の現況と復興の推移を報じ続ける

5　日本からの国際会長誕生の実現に向けた話題を積極的に取り上げると共に、国際大会への代議員派遣の重要性を強く訴える

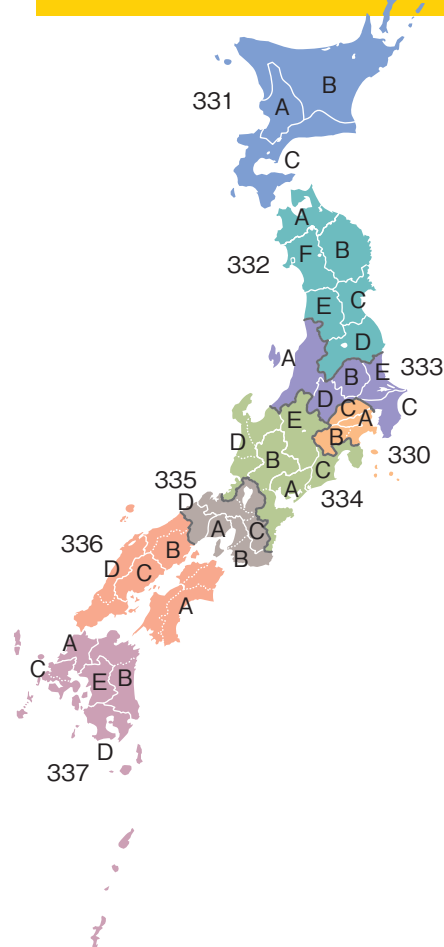
6　諸外国の事例を含む魅力と変化に富んだ例会づくりのヒントを紹介すると共に、ライオン誌例会の実践を呼び掛ける

7　本誌の長期安定を図るため、今年度も各複合地区に広告出稿をお願いするのに併せ、同梱広告による収入増を目指す

日本のライオンズ

2012.8.31　eMMR ServannA報告による

地区	都道府県	クラブ数	会員数	男性会員	女性会員	期首からの増減
330-A	東京	203	5,016	4,296	713	22
330-B	神奈川・山梨・東京	175	4,898	4,291	607	-16
330-C	埼玉	94	2,301	2,061	240	-4
330	計	472	12,215	10,648	1,560	2
331-A	北海道（道央）	72	2,434	2,258	173	21
331-B	北海道（道北・道東）	89	2,484	2,350	127	32
331-C	北海道（道南）	53	1,782	1,596	192	16
331	計	214	6,700	6,204	492	69
332-A	青森	65	1,781	1,579	198	43
332-B	岩手	55	2,285	1,592	687	28
332-C	宮城	76	1,561	1,263	296	20
332-D	福島	76	1,958	1,760	192	14
332-E	山形	58	1,830	1,618	202	20
332-F	秋田	50	1,285	1,044	243	3
332	計	380	10,700	8,856	1,818	128
333-A	新潟	78	2,829	2,512	312	6
333-B	栃木	53	1,471	1,077	391	-1
333-C	千葉	138	3,443	2,887	554	4
333-D	群馬	53	2,044	1,671	386	-11
333-E	茨城	77	2,783	2,494	276	37
333	計	399	12,570	10,641	1,919	35
334-A	愛知	122	5,237	4,688	546	50
334-B	岐阜・三重	82	3,632	3,202	396	162
334-C	静岡	82	3,102	2,982	129	-5
334-D	富山・石川・福井	96	3,845	3,584	247	46
334-E	長野	52	2,004	1,777	220	21
334	計	434	17,820	16,233	1,538	274
335-A	兵庫（東）	95	2,314	1,998	319	9
335-B	大阪・和歌山	180	5,519	4,871	648	78
335-C	滋賀・京都・奈良	120	3,916	3,597	312	40
335-D	兵庫（西）	66	1,921	1,716	207	3
335	計	461	13,670	12,182	1,486	130
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	151	5,500	4,839	646	29
336-B	鳥取・岡山	96	3,067	2,765	296	20
336-C	広島	101	3,449	3,230	209	48
336-D	島根・山口	99	3,191	2,948	231	60
336	計	447	15,207	13,782	1,382	157
337-A	福岡・長崎	116	4,447	3,888	534	96
337-B	大分・宮崎	73	2,336	2,157	171	25
337-C	佐賀・長崎	84	3,092	2,571	504	4
337-D	鹿児島・沖縄	80	2,356	2,143	216	10
337-E	熊本	59	1,593	1,438	158	-8
337	計	412	13,824	12,197	1,583	127
総計		3,219	102,706	90,743	11,778	922
世界のライオンズの		6.9%	7.6%	8.9%	3.6%	

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2012.8.31　国際協会集計

ライオンズ国または領域	207
世界のクラブ数	46,332
世界の会員数	1,348,054
※男性会員数	1,021,665
※女性会員数	326,389
期首からの増減	670

国	クラブ数	会員数	期首からの増減
アメリカ	12,200	344,606	-2,514
インド	6,130	217,862	1,675
韓国	2,107	82,018	663

ライオン誌10月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費76円
2012年(平成24年)9月20日発行　毎月1回20日発行　第55巻第4号
発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 Tel 03-3542-9571
印刷所　共同印刷株式会社